

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
119	崇化館	挙母地区1	豊田市駅東口及び西口拠点施設の整備	豊田市駅周辺は、様々な集客施設が有り、多くの人達の笑顔や楽しい会話が聞こえる。賑わいや魅力的な空間が広がる広場を含む駅東口整備は集客力、滞在時間や癒しのオアシス空間としての意義が有り、イベント、祭り等、多様な活用が生まれる事が期待される。加えて、西口でのバスターミナルやペDESTリアンデッキ等の再整備の工夫により、豊田市の独自性を生かした新たな、都市空間の創出をして、現在進行中の整備に於ける、歩行者動線はフェンスで囲まれ通勤、通学や利用する人たち、特にイベント時の歩行者の安全管理を徹底し、また景観や明るい雰囲気づくりを要望する。	・豊田市駅周辺については、日常的ににぎわうウォーカブルな公共空間の創出や安全・安心な歩行者動線の確保に向け、都市施設の機能・規模の最適化を図るとともに、整備内容の市民周知を図りながら、中心市街地の活性化に向けて機運を高めていく。 ・工事期間中は、通行量や人の動き等に合わせて工事用フェンスや仮設照明灯を設置し、必要に応じて警備員を配置するなど、安全・安心な歩行空間を確保するために柔軟に対応していく。また、工事用フェンスへのアート作品の掲示等の公民連携の取組や周辺施設等の情報の掲示などによって、まちなかのにぎわいに寄与する環境づくりを行っていく。 （都市整備部 都市整備課）	・豊田市駅西口施設整備費（1,597百万円） ・豊田市駅東口駅前広場整備費（229百万円） ・豊田市駅東口施設整備費（40百万円）
120	崇化館	挙母地区2	名鉄豊田市駅舎の改修整備	豊田市駅舎は1986年に開設され、朝夕時の混雑は大変厳しく、特に各種イベント、祭りやスポーツ開催時は階段等に乗降客が溢れ、大変危険な現在である為、北改札口の新設等人の流れの安全円滑化の促進、また清潔な大きいトイレの整備、2026年アジア競技大会、2027年リニア中央新幹線の開業を見据え、駅利用者、来訪者等、利便性向上及び本市42万都市玄関口としての顔に相応する魅力的な駅舎改修整備を要望する。	・名鉄豊田市駅の駅舎整備については、安全性・利便性を向上させ、快適に利用できる駅施設としていくため、令和6年度に締結した鉄道事業者との基本協定に基づき、引き続き協議調整を進めていく。 ・駅舎整備では、北改札の新設やトイレの再整備により安全で快適な駅施設の整備を進めるほか、ホームのかさ上げ等によりバリアフリー化を進めていく。 ・鉄道事業者が実施している店舗のリニューアルでは、駅前広場など周辺の都市施設整備と一体となったにぎわいづくりに向けて、連携して取り組んでいく。 （都市整備部 都市整備課、交通政策課）	・豊田市駅整備費（1,674百万円）
121	崇化館	挙母地区3	駅前総合観光拠点施設の新設	これからの観光交流事業は多くの産業に波及効果や雇用効果等を創出する産業である。本市の観光資源は誇るべく極めて豊富であり、観光振興を通じ地域経済の活性化に寄与する。観光地・土産・イベント宿泊所幹旋・飲食店情報等を考慮すると、現ウエルカムセンターn6では手狭で有り、申し訳程度である。情報発信の限界等考えられ、新に豊田市駅前での魅力創出で観光地域や営業店等に貢献できるシステムの総合観光案内所の設置を要望する。	・ツーリズムとよたと連携し、各エリアの観光情報を集約した一元的な情報発信を行うとともに、SNS、ホームページや、登録者の興味関心に応じた情報をダイレクトに発信する観光情報システム「いこまいるとよた」により、タイムリーかつ充実した情報発信に努めていく。 （魅力創造部 観光誘客推進課）  ・豊田市駅東口広場の再整備に併せて、豊田市駅前での情報発信・案内機能のあり方を検討していく。 （魅力創造部 観光誘客推進課、産業部 産業振興課）	・ツーリズムとよた補助金（115百万円） ・ウエルカムセンター費（1百万円）
122	崇化館	挙母地区4	中心市街地活気ある事業所対策	燃料費・物価・人権費高騰や消費者の行動変容・働き方改革など、事業者は厳しい時代を乗り越えて健全な経営努力をしている。懸念する個店の体力は過日のコロナ過以来、停滞しており、引き続き今後、好循環につなげる更なる取組を実施し、また、高齢化・後継者不足と重なり、空き店舗増加の懸念が有り、現在再整備の中、景観・衛生・治安低下など誘発を是正する意味でも更なる商業活性化プランなどの活用を要望する。	・商業活性化プラン（2025～2029）に基づき、個店を含めた事業者及び中小企業等の新事業展開へのチャレンジを促進する産業パワーアップ支援補助金により、事業拡大、事業転換、業務効率化の取組に対する支援を行っていく。 （産業部 産業振興課）	・産業パワーアップ支援補助金（25百万円）

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
123	崇化館	挙母地区5	災害時での被害者及び帰宅困難者緊急避難対応	近年、異常気象や温暖化などでの大雨災害の懸念が高くなり、中心市街地は全て冠水の恐れがある。各自治区や地域部会ではマイタイムラインなど勉強し、避難訓練も行っている。また、一時避難場所を考慮する場合、被害者及び帰宅困難者等をどの様に避難するかは行政・立体駐車場・商業施設・コミュニティ始め自治区や商店街等の協定での救済が必至であり、災害に強く対応出来る組織連携を構築して、必要な整備や備蓄など対応を要望する。	・住民の避難行動が適切に行われるよう出前講座において、防災における基礎知識などを学習する防災セミナーや、時系列に沿って取るべき行動を把握して、避難行動につなげるためのマイ・タイムラインの作成支援を継続して実施していく。 ・中心市街地における、帰宅困難者の避難対応として、商業施設等が参画する「豊田市駅・新豊田駅周辺の帰宅困難者対策推進協議会」により、組織連携の構築を図るとともに、公共施設や商業施設の上層階への避難の運用について検討を進めていく。 ・備蓄については、被害者用と帰宅困難者用それぞれ分けて確保しており、食料や生活必需品のほか、災害時における応急活動等を円滑に行うために必要な資機材等を、災害用備蓄物資等配備計画に基づき備蓄している。今後も国県の動向や時代のニーズを注視して、適宜、計画の見直しを行いながら、継続して備蓄を行う。 （地域活躍部 防災対策課）	・防災啓発費（9百万円）  ・防災計画費／帰宅困難者対策費（1百万円）  ・緊急生活物資備蓄対策費／帰宅困難者対策費（6百万円）
124	朝日丘	挙母地区6	県道豊田東郷線「小坂本町1丁目西」交差点から「宮上町8丁目」交差点間整備	県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は幅員約10mと狭く現在大型車両のすれ違いが難しく対面車同士の事故も発生するなど車道歩道ともに通行において非常に危険な状態であり、早期都市計画の実現に向け県との具体的な調整等の推進を要望する。	・県道豊田東郷線（（都）東郷豊田線）については、小坂本町1丁目交差点から内環状線までの区間を事業化するよう引き続き愛知県に働きかけていく。 （建設部 建設企画課）	
125	朝日丘	挙母地区7	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間で挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小中学生の通学路の安全性確保のため早期の事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難となった場合は自転車歩行者専用道として整備をすることを要望する。	・挙母揚水跡地の一部は民地であり、用地協力が得られれば効果的な整備手法を検討していく。 （建設部 土木課）	
126	朝日丘	挙母地区8	市道樺通り線整備	小坂本町区間における市道樺通り線は従来より豊田市駅西口道路の中心的な役割を果たしているが、今後駅西口バスターミナル集中、豊田市博物館・美術館の利用増加による豊田市駅からの公共交通機関利用者に向けた安全な歩行者導線などの必要性が高まると思慮する。歩道のバリアフリー化、無電柱化など歩行者導線の整備とともに、車道も含めた樺通り全体の整備を要望する。	・市道樺通り線については、中心市街地における歩行者の安全性や回遊性の向上、博物館や美術館等の文化ゾーンへの誘導を図る動線として、道路空間の在り方を検討する。 （都市整備部 都市整備課）	
127	朝日丘	挙母地区9	毘森公園整備	①公園内の歩道・車道の修繕、②枝下用水周辺の安全対策及び公園未供用区域を含む樹木竹林の整備。	・公園内の歩道、車道については、現状の施設の適正な維持管理を実施していく。 （魅力創造部 スポーツ振興課）  ・枝下用水周辺については、愛知県の枝下用水幹線水路耐震化工事の進捗を見据えながら、必要に応じ安全対策を検討していく。また、公園未供用区域の在り方については、毘森公園の整備方針と合わせて検討していく。 （都市整備部 公園緑地課、都市計画課）	



令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
128	朝日丘	挙母地区10	豊田市小坂本町（文化ゾーンエリア）の防犯カメラ設置	文化ゾーンは多くの来訪者を回遊させるコンセプトを持っているが、一方で地域内は多くの一般の住居地域が含まれている。地域より不審な動きをする人が以前より増えているとの声が挙がっており、設置をアピールする防犯効果の期待も含めてゾーン内の効果的な防犯カメラの設置を要望する。	・防犯カメラについては、地域の自主防犯の一環として自治区等による防犯カメラの新設や機能維持が促進されるよう、新設、更新及び移設に要する費用への補助制度を実施している。 ・そのほか、令和 6 年度から豊田市域全体の犯罪抑止をねらって市が主要交差点に防犯カメラを設置し、その効果検証を進めている。 ・文化ゾーン内の公共施設は、必要に応じ防犯カメラを設置している。（地域活躍部 交通安全防犯課、魅力創造部 文化振興課）	・防犯設備整備費補助金（1 2 百万円） ・主要交差点防犯設備整備費（1 4 百万円）
129	朝日丘	挙母地区11	金谷町7丁目の洪水対策	豪雨が発生する度に道路が浸水するため、帰宅ができない民家や、保護者が送迎できなくなることも園があるため。一刻も早い排水路整備を求める。	・当該地区の抜本的な浸水対策には、放流先の長田川改良事業に合わせた排水路整備等が必要であるため、早期の対策として、排水不良箇所の改良を進めていく。（建設部 河川課）	・排水路改良費（5 8 8 百万円）
130	逢妻	挙母地区12	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	豊田南バイパス工事が 8 年度開通に向けて工事が進む中で、バイパスと接続する、「市道豊田西部 2 号線新設工事」もバイパス工事に合わせて進んでいる。みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険であるため、「市道豊田西部 2 号線拡幅区間」の早期完了を求める。	・市道豊田西部 2 号線の豊田南バイパスから市道福谷一色線までの新設区間については、豊田南バイパスの供用に合わせ、令和 8 年度の供用を目指し、引き続き事業を進めていく。 ・みよし市三好丘緑までの拡幅区間については、引き続きみよし市と連携し、工事に向けた設計を進め、事業推進を図っていく。（建設部 幹線道路推進課）	・市道新設費（4 3 3 百万円）
131	逢妻	挙母地区13	県道宮上知立線東名高速高架下の改修	宮上知立線の東名高速高架下（本新町 8 丁目）は豪雨の度に冠水し、通過車両に危険が及んでいる。早急な改修を求めます。合わせて、側道も舗装されておらず、浸水の危険や、荒れた路面での通学中の中学生の転倒の危険もあるので、本線と合わせて改修を求めます。	・県道宮上知立線の東名高速高架下の排水路の改修及び歩道設置事業については、愛知県が用地取得に向け、関係機関と協議を進めている。（建設部 幹線道路推進課）	・愛知県事業：県道宮上知立線
132	逢妻	挙母地区14	柿本2丁目～東新町5丁目交差点間の通学路整備	当該区間は、逢妻中学校生徒の内、約半数の 4 0 0 名の生徒の通学路であり、また、大規模自動車向上や大型スーパーのため、終日通過車両が多い区間であるが、歩道が十分に、設置できていないため大変危険である。よって、早期の歩道設置を求める。	・歩道未整備区間の整備については、用地取得を進めていく。（建設部 土木課）	・歩道設置費（3 0 4 百万円）
133	逢妻	挙母地区15	南バイパス開通による通学路整備	現在、南バイパス工事が進められているが、開通により地区内の通学路が変更になったり、通過車両の量の増減が予想される。バイパス開通 8 年度開通に合わせた通学路の安全対策を求める。	・通学路の安全対策については、地元や学校からの通学路整備要望を踏まえ、引き続き豊田南パイパスに関連する市道整備と併せて必要となる安全対策を講じていく。 ・令和 7 年度から 3 か年で、逢妻地区からの要望に基づき、通学路を中心に地区全体での区画線修繕を集中的に進めている。（建設部 幹線道路推進課、地域活躍部 交通安全防犯課、教育部 学校教育課）	・特定道路改良促進費（2 2 4 百万円） ・事故防止対策費（3 0 2 百万円） ・通学路整備費（4 2 百万円）
134	逢妻	挙母地区16	東新町 3 丁目の排水路整備	大雨の度に、雨水が歩道に溢れ、通学の児童は池のようになった道路を登校し、付近の個人宅にも雨水が進入し、住民自ら土嚢を組み対応しているのが常態化している。一刻も早く新たな排水路ルート確保を求める。	・当該地区の浸水対策として、部分的な道路側溝の付替え等により流下能力の改善を図っていく。また、更なる浸水被害の軽減に向けた検討も進めていく。（建設部 河川課）	・排水路改良費（5 8 8 百万円）
135	梅坪台	挙母地区17	京町地区から梅坪小学校への通学路の安全確保	京町地区から梅坪小学校への通学路にあたる梅坪緑陰歩道に隣接する川東共同墓地の法面の一部について崩落の危険性があるため、通学児童や地域住民の安全確保と集中豪雨や大規模地震に対する備えのため、早期対応を要望する。	・市営である古瀬間墓園を除く墓地の管理は、原則として地域の管理組合等が担うものであり、市が対応することはない。 ・ただし、墓地の利用環境や周辺市民生活への影響の観点から、大規模な整備が想定される場合等は、費用負担や手法について管理者等と協議し、必要な対策を検討していく。（総務部 財産管理課）	

令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
136	梅坪台	挙母地区18	上豊田駅周辺区画整理事業の迅速で円滑な実施	上豊田駅は、第9次総合計画で重点居住誘導駅に位置付けられており、周辺では都市計画道路浄水駅北通り線・西山上挙母線・豊田北バイパスの整備が進められている。また、鉄道、おいでんバス（藤岡・豊田線、さなげ・足助線）、パークアンドライド、自転車等の交通結節点であり、早期整備が望まれている。区画整理事業の早期実施に向けた人及び予算の確保と技術的な支援を要望する。また、関連公共事業との調整が必要であり、市による事業化の検討をお願いする。	・関連する公共事業の動向に注視しながら、上豊田駅周辺での居住誘導に向け、区画整理手法等を活用したまちづくりの実現性や官民連携による最適な事業スキームの検討を進めていく。 （都市整備部 区画整理支援課、市街地整備課、交通政策課）	・上豊田駅周辺土地区画整理調査費（8 0 百万円）
137	梅坪台	挙母地区19	籠川、伊保川の災害発生の防止のための維持管理と環境整備	籠川流域（矢作川合流点から伊保川合流点）における樹木伐採、土砂堆積等の流下阻害に対応した維持管理の継続と、地域で機運が高まっている環境保全活動への支援を要望する。また、籠川緑地の豊田北バイパス南近接地の早期整備を要望する。	・籠川流域の維持管理については、管理者である愛知県に働き掛けていく。 （建設部 河川課）  ・籠川緑地の整備については、豊田北バイパスの工事状況を踏まえ、緑地の整備時期及び整備内容について整理していく。 （都市整備部 公園緑地課）	
138	梅坪台	挙母地区20	梅坪駅周辺における集中豪雨に対応した雨水排水対策の実施	近年の気候変動等の影響で、梅坪駅周辺において短時間集中豪雨による浸水被害が発生している。豊田市総合雨水対策マスタープランに基づく雨水排水対策の早期実施を要望する。	・近年では、全国的に短時間集中豪雨による浸水被害が多発しており、梅坪駅周辺でも施設能力を超える降雨により浸水被害が発生した。これらを踏まえ、令和 5 年度に雨水管理総合計画を改定し、市街地の浸水対策に取り組んでいる。梅坪地区では、地下貯留施設などの整備を計画しており、早期に事業着手できるよう調整していく。 （上下水道局 企画課）	・下水道事業計画変更業務委託費（1 4 百万円）
139	梅坪台	挙母地区21	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	枝下用水幹線水路沿線は、枝下緑地の都市計画決定を受け、緑地整備が行われているが、用水や緑地の未整備区間による地域の往来が困難な区間があり、生活環境や地域コミュニティの形成に影響が生じている。耐震工事に合わせた小・中学校の通学路、災害時における避難所への経路の確保、のり面緑化等の周辺整備を要望する。	・緑道の未整備区間については、愛知県が実施する枝下用水幹線水路耐震化工事と連携し、関係機関及び地域との調整を図りながら、緑地整備の検討を進めていく。 （産業部 農地整備課、都市整備部 公園緑地課）	・県営震災対策農業水利施設整備費（枝下用水地区）（3 0 2 百万円）
140	浄水	挙母地区22	豊田南北バイパスの早期整備と関連生活道路の整備促進	豊田南バイパスは、令和 8 年度に国道 1 5 5 号線までの暫定供用が始まるが、国道 1 5 5 号の改修は行われていないことから、渋滞と通過交通の生活道路への侵入が懸念されている。したがって、北バイパスや国道 1 5 5 号の早期整備と合わせて、関連する生活道路の整備を要望する。	・豊田北バイパスについては、事業者である国に早期整備を引き続き要望していくとともに、国道 1 5 5 号についても、周辺土地利用状況等を踏まえ関係機関と検討を進めていく。 （建設部 建設企画課）  ・関連する生活道路については、豊田北バイパスの整備に合わせ、引き続き安全で安心な生活道路の整備を進めていく。 （建設部 幹線道路推進課）	・特定道路改良促進費（2 2 4 百万円）
141	浄水	挙母地区23	豊田北バイパス、浄水駅北通り線及び関連生活道路の整備促進	上豊田駅前区画整理事業の進捗に合わせた豊田北バイパス及び浄水駅北通り線の早期整備と、浄水駅北通り線の 4 車線化に伴う中央分離帯の設置による向山団地、浄水交流館、豊田高校へのアクセスを確保するための調査費の確保と対応策の早急な実施を要望する。	・豊田北バイパスについては、事業者である国に早期整備を要望していく。 （建設部 建設企画課）  ・（都）浄水駅北通り線の豊田北バイパスの影響部分である上原町西山交差点から若草町 2 丁目交差点間については、早期整備に向け、引き続き用地取得を進めていく。 （建設部 幹線道路推進課）  ・4 車線化に伴い必要な向山団地の生活道路の整備は、上豊田駅周辺のまちづくりの事業進捗を踏まえつつ、地域と意見交換を進めていく。 （建設部 街路課、都市整備部 区画整理支援課）	・街路建設費（3, 7 8 3 百万円）



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
142	浄水	挙母地区24	人口増加に対応した安全・安心なまちづくりに向けた地域防犯力の強化	浄水地区は、区画整理事業の進展により人口が急増しており、浄水中学校区の人口は1万5千人を超え、現在も増え続け、自転車の盗難等の軽犯罪も急増している。こうした状況の中、安心・安全なまちづくりに向けた地域防犯力の強化が求められている。交番の設置については引き続き愛知県警察への要望をお願いするとともに、自治体が運営する防災活動拠点となる安心安全ステーションの設置を要望する。	・愛知県警察では、犯罪や交通事故などの治安情勢、人口、地理的条件などの地域情勢を考慮して、交番等の整備を進めているため、愛知県警本部長宛に警察力強化等に関する要望書を提出し、社会基盤整備などによる地域事情の変化が著しい地域などへの交番設置など警察力強化を要望していく。 ・安全・安心ステーションについては、設置運営している他の自治体の状況やその効果を引き続き研究していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	
143	浄水	挙母地区25	伊保川の洪水による災害発生の防止のための維持管理と環境整備	伊保川における樹木伐採、土砂堆積等の流下阻害に対応した維持管理の継続と、地域で機運が高まっている環境保全活動への支援を要望する。また、伊保川の浄水小学校北側の親水護岸の早期整備を要望する。	・伊保川流域の維持管理については、管理者である愛知県に働きかけていく。 （建設部 河川課）  ・地域の環境保全活動のうち、地域の小学生等を中心とした体験学習や環境整備活動は、わくわく事業による助成等により、活動の支援を継続していく。 ・伊保川の浄水北小学校北側の親水護岸については、令和7年度に設計を行い、管理者である愛知県と協議が整い次第、令和8年度以降に整備を進めるとともに、地域による管理に向け、調整を行っていく。 （地域活躍部 地域交流課）	・わくわく事業補助金（150百万円） ・地域課題解決事業／地域自治振興費（20百万円）
144	浄水	挙母地区26	浄水駅南側広場のイベントに対応できる仕組みづくり	浄水駅南側広場は、地域主催による地域の絆を向上するイベントが毎月開催され、毎回1千人以上の集客でにぎわっている。しかしながら、現在は車両の進入ができない、電気・水道の利用ができないなどの制約があり、地域の皆さんやイベント参加者に不便をかけている。地域が賑わいあるイベントを開催するため、広場を利用しやすい仕組みづくりを要望する。	・浄水駅南側広場については、地域主催のイベントをわくわく事業補助金で支援しているほか、イベントが円滑に開催できるよう、イベント時の荷受け車両の乗入れの柔軟な対応を行っているが、機能面での制約については、利用状況を踏まえ、地域及び関係各課と調整を図っていく。 （地域活躍部 地域交流課）	・わくわく事業補助金（150百万円）
145	豊南	挙母地区27	河合町1丁目交差点をスクランブル交差点に	河合町1丁目の交差点は、1日中車と歩行者の交通量が多く、特に子供たちの登下校の安全見守りの重点場所となっています。子供たちが集団で渡るため、右折左折の車のスムーズな通行が妨げられ渋滞を引き起こしています。この渋滞と歩行者の安全性の解消のためスクランブル交差点になるよう要望します。	・交差点のスクランブル化については、愛知県公安委員会が道路形状、交通実態調査等により、その必要性を判断して変更を行っている。 ・当該交差点における交通量や歩行者の利用状況の調査を含め、交差点のスクランブル化について愛知県公安委員会に働き掛けていく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	
146	豊南	挙母地区28	豊栄河合線に押しボタン式横断歩道の新設	現在、大勢の高齢者の方々が朝夕の散歩時に豊栄河合線を横断しています。河合池マレットゴルフ場に向かう高齢者の横断が多いです。将来交通量が増えてくることが想定され、非常に危険と危惧されます、是非押しボタン式横断歩道の設置を要望します。	・横断歩道及び押しボタン式信号機については、愛知県公安員会が交通実態調査等により、その必要性を判断し設置を行っているため、引き続き愛知県へ要望していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	
147	豊南	挙母地区29	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成し、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、また安永川改修事業を広く市民に知っていただけるよう、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。	・当該箇所は現在、明治用水頭首工復旧工事の工事用地として民間の土地を東海農政局が借地しており、将来的な土地利用については、必要に応じて関係部署との調整を進めていく。 （建設部 河川課）	

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
148	高橋	高橋地区1	県道豊田則定線・高橋1号線交差部から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化	寺部区画整理事業を終え、継続して要望課題として上げている高橋～県道豊田則定線の4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m及び内環状線～外環状線までの4車線化の計画に伴い、まちづくりの観点から寺部区画整理事業は一区切りを終え、現在では愛知県が道路用地調査にも入っているが引続き、早期4車線道路計画の目途をつけて頂くよう要望する。	・県道則定豊田線の4車線化は、愛知県が市道高橋1号線から内環状線までの区間を事業化し、詳細設計や設計協議、境界立会を実施している。 （建設部 幹線道路推進課）  ・内環状線から外環状線までの区間については、引き続き事業化に向け、愛知県に働き掛けていく。 （建設部 建設企画課）	・愛知県事業：県道則定豊田線
149	高橋	高橋地区2	県道則定線と市道高橋1号線への接道へ信号機交差点設置の確定	県道豊田則定線は令和3年度より4車線化事業が行われており、令和5年度以降内環状線までの4車線化の事業化が予定され、令和7年度より用地取得のための調査が進められる。事業と並行して中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまう為、市道高橋1号線と県道豊田則定線との接道へ信号機交差点の設置を強く要望する。区画整理事業を進めて行く上で平成14年から始まった住民説明会からも強く要望され、その上で区画整理事業に同意し、現在の市道高橋1号線はその為に拡幅をした経緯も有る。  現在は暫定的な交差点となっているが、交差点設置の確定を要望。 自民クラブ地域要望としては引続きの継続要望であり、令和2年7月27日以降八木哲也前衆議院議員・前鈴木雅博県議会議員・岩田淳市議とで愛知県警察本部・交通部長石川智之警視長へ請願書として提出済の為、その後の対応及び回答を要望。令和5年10月6日には再度、愛知県都市交通局へ3議員で出向き要望活動及び状況を確認。今年度も引き続き要望活動を実施して行く予定。	・県道則定豊田線の4車線化事業は、令和6年3月4日付けで都市計画道路事業認可され、愛知県が工事着手に向けて詳細設計等に取り組んでいる。 ・信号機の設置については、愛知県公安委員会が交通実態調査等により、その必要性を判断し設置を行っているため、引き続き愛知県へ要望していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課、都市整備部 市街地整備課）	
150	高橋	高橋地区3	高橋地区こども図書室施設における老朽化に伴う修繕の対応及び建て替えを要望	こども図書室は令和7年度で30周年を迎え記念式典が行われた。こども図書室ボランティアの皆様が中心となって運営されている。旧高橋村時代の役場の跡地で運営されており、現在の建物は旧高橋公民館。現在では高橋スポーツクラブとこども図書室が建物を使用しているが築50年以上たっており老朽化の進行が進んでいる。県道則定線の拡幅工事に伴い、高橋交流館の敷地も縮小される。高橋地区ではこども達から高齢者の方々が図書室やスポーツを通じて多く集うランドマーク的な存在であるため、課題要望されている老朽化対策及び建て替えを要望する。	・こども図書室の今後の方向性については、公共施設の最適化の視点から総合的に考え、引き続き検討していく。 ・施設の老朽化対策については、必要に応じて修繕を実施する。 （教育部 図書館管理課）	・施設整備費（11百万円） ・こども図書室費（1百万円）



令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
151	高橋	高橋地区4	鞍ヶ池公園第 2 期整備事業（駐車場等）及び動物園の活性化・鞍ヶ池公園周辺の地縁団体の保有する有効な土地利用活用（交通公園前）	<p>鞍ヶ池公園はリニューアルを終え、今年で60周年を迎える。豊田市を代表する公園として全国から約150万人に迫る来訪者が訪れる公園。しかし鞍ヶ池公園内に設置されている動物園には無償でも来訪者が約20万人～の状況であるため、市の保有する財産を活かすためにも動物の種類と飼育員を増やし活性化を要望する。令和5年10月29日には豊田青年会議所が鞍ヶ池公園でイベントを行い、動物園に新たな動物を招致するアンケート及び要望書が提出されている。（1位パンダ・2位トラ・3位レッサーパンダ等）</p> <p>また、鞍ヶ池公園第二期整備事業が頓挫しており、公園周辺（池田自治区・区民）の保有する土地利用を公園駐車場・ラリー等を始めとした利活用を要望する。既に池田自治区内では令和2年度より豊田東部まちづくり協議会が発足され、集団移転事業等に関して企画政策部・都市計画課へ要望を行い、地域住民との意見交換も行ってきた。池田自治区内が保有する地縁団体の土地について、市による有効利用を要望する。</p>	<p>・鞍ヶ池公園動物園については、まずは老朽化している施設への対応を進め、利用者の安全確保の取組を進めていく。また、隣接する動物愛護センターとの連携など、活性化に取り組んでいく。 （都市整備部 公園緑地課、保健部 保健衛生課）</p> <p>・鞍ヶ池公園における新たな土地利用については、現時点で考えていない。また、防災集団移転促進事業については、必要に応じて地域住民との意見交換を行っていく。 （都市整備部 公園緑地課、都市計画課）</p>	・鞍ヶ池公園維持管理費（うち修繕費）（13百万円）
152	高橋	高橋地区5	平井小学校体育館を緊急避難場所及び避難所指定可能とする整備と関連する市道岩滝～百々線の延伸整備及び消防団詰所土地の確保	<p>平井小学校体育館は体育館北側が土砂災害警戒区域指定がされているため、緊急避難場所及び避難所指定がされておらず、災害時には体育館の使用ができない状況である。本来なら愛知県が整備を進めなければならないが愛知県の整備条件から外れているため、豊田市として整備を進め土砂災害区域指定を外し避難所指定にすることを要望する。愛知県からの回答は既に説明済。高橋区長会（15自治区）として要望書も提出済（建設部・教育部・防災対策課が同席）。</p> <p>また、土砂災害区域となっている急傾斜地は現在、市道延伸が計画されている市道岩滝～百々線の道路法面であるが、市道延伸事業の時期及び状況と延伸事業と合わせて余剰地を利用して平井町・百々町地区の消防団詰所土地の確保を要望。</p>	<p>・平井小学校体育館北側の土砂災害警戒区域については、用地協力が得られれば、同校体育館を避難場所指定できるように対策案を検討していく。市道整備については、用地取得や道路設計を進めていく。 （建設部 土木課、土木管理課、地域活躍部 防災対策課、教育部 学校づくり推進課）</p> <p>・消防団詰所格納庫の用地確保については、現状、市道延伸事業における余剰地が見込めないことから、今後の延伸事業の状況を注視していく。 （地域活躍部 防災対策課）</p>	・市道新設費（433百万円）
153	美里	高橋地区6	県道細川豊田線の拡幅・改修	<p>いよいよ北側から野見児童館までの歩道が完成し、通学路が完成した。今後は、鵜の首開削事業も本格化するため、更に工事車両等が増加する事が懸念される。野見児童館から南側の用地買収の強化をし、早期に道路拡幅と歩道新設を含めた拡幅・改修の整備を要望する。</p>	<p>・県道細川豊田線の野見児童館から南側の区間については、歩道設置に向け、愛知県が用地取得を進めている。 （建設部 幹線道路推進課）</p> <p>・市道長興寺野見線との交差点から南側の区間については、引き続き整備に向け、愛知県に働き掛けていく。 （建設部 建設企画課）</p>	・愛知県事業：県道細川豊田線
154	美里	高橋地区7	東部1号線から高上東山線のバリアフリー化整備	<p>東部1号線から高上東山線の歩道は、浸水性の高い舗装の箇所があり表面の劣化が進んでいる。道路面との段差もあり、カーブが続くエリアでは、歩行者が歩行するのに転倒しやすく、危険がある。通学路にもなっており早期に道路面との段差を解消し、安全に歩行できるバリアフリー化整備を要望する。</p>	<p>・市道高上東山線については、沿道に大型商業施設が隣接するなど、利用頻度の高い乗り入れ口が連続しており、老朽化への対応に合わせた整備を行うため、令和7年度の設計に続き令和8年度に工事をしていく。市道東部1号線外2路線についても、道路の状況に応じた対応を検討していく。 （建設部 土木課）</p>	・市道改良費2（529百万円）

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
155	美里	高橋地区8	美里地区の白線及び安全の緑線の整備	美里地区では、小中学校が国道や主要道路沿いにあるため、通学時に交通量が多い状況にある。経年劣化もあり、白線及び安全の緑線が薄くなったり整備されていない個所もある。安全に通学するために早期整備を要望する。	・市道東部1号線や都計環状線など小中学校が隣接している幹線道路や計画中の「ゾーン30プラス」区域を中心に順次、白線（区画線）修繕を進めていく。 ・国道301号については、道路管理者である愛知県に白線（区画線）修繕を要望していく。 ・安全のみどり線についても通学路整備要望に基づき、新設及び修繕を順次進めていく。 （地域活躍部 交通安全防犯課、教育部 学校教育課）	・事故防止対策費（302百万円） ・通学路整備費（42百万円）
156	美里	高橋地区9	第2期中央公園整備	アジア大会に向けて先行整備区域の基盤造成工事が始まった。今後は、次期整備区域の用地買収の早期に推進するとともに、公園の整備内容を議論することを要望する。	・先行整備区域については、令和8年9月の開設に向けて公園整備を進めている。 ・次期整備区域については、事業スケジュールを含め事業化に向けて整備内容の検討を進めている。 （都市整備部 公園緑地課）	・中央公園第二期整備費（1,030百万円）
157	美里	高橋地区10	鵜の首狭窄部整備及び鵜の首橋の付替え	東海豪雨級の洪水を安全に流せるように国が矢作川整備計画を策定し整備を進めている。矢作川が狭く蛇行している為に、中流域の豊田市中心部を脅かしている「鵜の首狭窄部」の早期完成を要望する。また、鵜の首橋を相互交通できるように整備すると共に、現状の交通量の調査を要望する。	・狭窄部を含む「鵜の首地区水位低下対策事業」の早期完了による中心市街地の治水安全度向上を目指し、今後も引き続き国に対して積極的な支援を実施するとともに、緊密な連携を図り、事業のより一層の促進を図っていく。 （建設部 河川課）  ・鵜の首橋の架け替えについては、令和7年度に行った交通量調査の結果や（都）高橋細谷線の主要交差点間の4車線化完了後の渡河交通全体の交通状況を踏まえた上で検討していく。 （建設部 土木課）	・矢作川改修促進費（159百万円） ・市道改良費2（529百万円）
158	益富	高橋地区11	国道301号線整備（益富拡幅）に伴う関連市道の整備	2021年に事業着手し総事業費30億円の事業概要が発表され、主要道路である国道301号4車線化が推進されている。用地測量を行い、道路詳細設計も進んでいる中、早期に用地買収を要望する。また、関連市道の調査を進めるとともに、地域から提出された要望事項について推進して頂くことを要望する。	・国道301号益富拡幅は、愛知県が物件調査や用地取得を進めている。 ・地域からの要望事項については、現地調査を踏まえ、愛知県と協力して、引き続き順次設計等に取り組んでいく。 （建設部 幹線道路推進課）	・市道改良費1（429百万円） ・愛知県事業：国道301号
159	益富	高橋地区12	志賀郷中線の交差点改良	志賀中郷線と上野大見線のT字路の交差点では、鋭角に接続しているため、事故が多発している。また、近くに古瀬間小学校があり、通学路になっている地域の生活道路だが、朝夕の交通量も増加している。交差点改良を含めて整備を要望する。	・令和7年度に用地取得が完了した。令和8年度から工事を進めていく。 （建設部 土木課）	・交差点改良費（53百万円）
160	益富	高橋地区13	樫尾川の整備	泉町付近の樫尾川が、大雨によって越水し、駐車場全体が水たまりになる被害があった、今後の集中豪雨に対して川幅を広げるなどの対策を要望する。	・樫尾川は、愛知県が進めている国道301号の4車線化に合わせて国道横断部の河川改修を実施し、流下能力の改善を図っていく。今後、愛知県と調整しつつ、詳細な設計等を進めていく。 （建設部 河川課）	・河川改良費（484百万円）
161	益富	高橋地区14	浜居場住宅の建て替え整備	平成21年より入居者を止めている中で、建て替えの明確な方針が決まっていない。国道301号の四車線化に伴い歩道整備が計画されているため、今後の国の整備と共に浜居場住宅の建て替えを要望する。	・浜居場住宅の建替えについては、今後の市営住宅全体の整備方針の策定を踏まえ、方向性の検討を行い判断していく。 ・令和8年度は、道路整備のスケジュールに支障が出ないように、市道東側の解体工事に着手する。 （都市整備部 建築保全・住宅課）	・浜居場住宅（79百万円）



令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
162	益富	高橋地区15	五ヶ丘地区の遊歩道整備	五ヶ丘には生活道路を走る車との接触が極力無い様に遊歩道整備がされているが、五ヶ丘団地が完成してから35年が経過し、遊歩道に亀裂やひび割れ、根上り等が多くみられるようになった。遊歩道を歩く市民も高齢化が進んでいる地域であり、安全に散歩が出来るように遊歩道整備を要望する。（五ヶ丘公園内も含む）	・五ヶ丘地区の遊歩道については、亀裂、ひび割れ、根上り等の状況を適宜確認し、通行に支障となる損傷については、優先的に修繕を実施していく。 （建設部 道路維持課）  ・五ヶ丘公園内の園路についても、状況を把握しながら、優先度をつけて引き続き修繕を実施していく。 （都市整備部 公園緑地課）	・道路修繕費（1, 6 6 3 百万円）   ・公園施設修繕費（うち一般修繕費）（3 5 百万円）
163	末野原	上郷地区1	愛知環状鉄道永覚駅へのアクセス道路整備（永覚町）	永覚駅南側及び北側道路は狭小且つ暗いため、電車利用の歩行者や自転車にとって極めて危険な道路となっていく。また、駅に送迎する車両を含め、通行量も少なくなることから車両がすれ違いもできず交通支障となっている。安全で利便性の高い生活道路確保のため、駅へのアクセス道路整備を要望します。	・市道末野ヶ原永覚線の道路拡幅整備については、開発等による周辺土地利用の変更や明治用水の耐震化事業との調整など総合的に判断していく。 （建設部 土木課）	
164	末野原	上郷地区2	県道本地鷺鴨線（（都）大林桝塚線）未整備区間の事業化による歩道整備	県道本地鷺鴨線（（都）大林桝塚線）は、鷺鴨町上大岨付近において未整備区間がある。また、西側に水路が並走するこの未整備区間は、歩道の連続性が確保されておらず、安全確保が不十分な状況となっている。歩道の連続性の確保とともに、未整備区間の早期事業化について要望します。	・県道本地鷺鴨線（（都）大林桝塚線）については、末野原中学校北角から愛知環状鉄道交差部までの区間が未整備となっている。通学路としての利用状況や交通状況を踏まえ、未整備区間の事業化に向け、愛知県に働き掛けていく。 （建設部 建設企画課）	
165	末野原	上郷地区3	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題があります。特定空家等に該当するか調査をお願いするとともに、土地の管理者である愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。	・当該屋台については、愛知県の管理する公有地上に位置する所有者不明の物件であり、空家法の適用の対象ではないため、引き続き管理者である愛知県に対して撤去等を働き掛けていく。 （建設部 幹線道路推進課、都市整備部 建築相談課）	
166	末野原	上郷地区4	大林こども園 進入路の拡幅	園児の朝夕の送迎において、こども園の進入路が狭く、過去に接触事故も起きており、早急に改善する必要がある。	・大林こども園への進入路の拡張は、駐車可能台数が減少するなど影響が大きいため、実施は困難である。 ・現在、朝・夕の通行が多い時間帯には、保育士等が車両誘導を行っており、今後も接触事故防止に努めていく。 （こども・若者部 保育課）	
167	末野原	上郷地区5	山之手こども園の幼稚園の保育園化	山之手こども園は公立の幼稚園として、4歳児・5歳児の幼児が通園している。保育需要の高い乳幼児及び3歳児へ対応ができていない。また、山之手地区はマンション建設も多く、地域住民から乳幼児及び3歳児への保育の希望が多い。	・山之手こども園の保育所認可園化については、本市全体の受入れ枠の在り方や周辺地区の保育ニーズの状況、築年数の経過状況を踏まえ、現園舎の更新方法を含め引き続き検討を進めていく。 （こども・若者部 保育課）	
168	末野原	上郷地区6	愛知環状鉄道末野原駅のバリアフリー対策	バリアフリー化基本方針としては駅利用者3,000人/日としているが、駅ホームに行くには長い階段を利用しなければならず、特に小さなお子様連れ（ベビーカー等）や高齢者の方々にはとても不便で利用を控えざるを得ないとの意見を聞く。南部地域では唯一のパークアンドライド駐車場を駅前に配置しており、今後利用者の利便性や増進を図るためにもバリアフリー化の早急な対応を要望します。	・バリアフリー法の基本方針では、駅利用者が3,000人/日未満の鉄道駅のバリアフリー化は、鉄道事業者の任意であるが（末野原駅 令和6年度利用者数2,569人/日）、超高齢社会の進展等を踏まえ、バリアフリー化未実施駅の現状把握や課題整理などを進めながら、駅ごとのバリアフリー化の方向性を整理していく。 ・バリアフリー化の際は、鉄道事業者からの支援要請に基づき、国の補助制度の活用を検討し、連携を図っていく。 （都市整備部 交通政策課）	

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
169	末野原	上郷地区7	三河豊田駅前広場の改修	時代の経過とともに、駅前広場としての機能が低下している。そこで、地元住民による「三河豊田駅駅前広場再生協議会」が設立され、地域住民が憩え、時代に合った交通結節点機能を備えた駅前広場に全面改修することを要望する。	・三河豊田駅前広場再生協議会の活動を支援するとともに、駅前広場の利用実態の調査及び機能検証結果のほか、過年度に撤去した噴水跡地におけるイベントなどの活用状況などを踏まえ、課題改善策及び改善方針の検討を行っていく。 （都市整備部 市街地整備課）	・既成市街地土地利用調査費（3百万円）
170	末野原	上郷地区8	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の計画工事の推進を図りつつ、県・市による自転車道・歩道及び交差する市道・橋梁を含めて環境にも配慮した地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望します。	・明治用水幹線水路の大規模地震対策となる国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」は、令和元年度から工事着手され順次整備が進められている。 ・上部利用及び周辺整備については、国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」の事業進捗に合わせ、国、県、明治用水土地改良区等との協議を進め、今後の方向性を検討していく。 （産業部 農地整備課）	・矢作川総合第二期地区支援事業費（2百万円）
171	末野原	上郷地区9	渡刈町内の宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施を要望します。	・宝蔵川周辺の浸水対策については、現在進められている明治用水耐震事業に合わせて、設計を進めていく。 （建設部 河川課）	・河川改良費（484百万円）
172	上郷	上郷地区10	市道畝部小学校東線の整備	県道岡崎豊明線から畝部小学校（指定避難所）まで大型消防車、バス、災害支援物資輸送車等の大型車が安全に通行できるよう拡幅	・令和8年度から工事を進めていく。 （建設部 土木課）	・市道改良費2（529百万円）
173	上郷	上郷地区11	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良 ②市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶ ③市道東柵塚東線を延伸し、柳川瀬公園まで結ぶ	・市道広美柵塚線の道路拡幅については、令和7年度に測量及び詳細設計を実施する。令和8年度は乗入や借地等について地権者調整を進めていく。 ・市道広美柵塚線の先線である市道広美柵塚2号線と市道隣松寺西柵塚線の交差部及び、市道東柵塚郷東線を經由して柳川瀬公園を結ぶ道路の整備については、愛知環状鉄道北野柵塚駅の周辺整備が具現化されれば、道路整備を検討していく。 （建設部 土木課）	
174	上郷	上郷地区12	和会町荒古 円滑な通行の確保	県道239号線と高嶺通学線の交差点において、交差点角に用水コンクリート蓋が大きく突出しており、円滑な通行の支障となっている。コンクリート蓋を撤去し円滑な通行の確保を要望する。	・当該交差点における交通の支障となっている支障物については、所管部局（上下水道局）と移設に向けた協議を行い、円滑な通行を確保するための改良手法について検討を行っていく。 （建設部 土木課、上下水道局 水道維持課）	
175	上郷	上郷地区13	下和会自治区 安全確保のための通学路整備	高嶺小学校児童が通学路として使用する釜戸橋下和会線は基本的に農道で、路肩に緑線が引かれただけで安全対策のない、すれ違いも困難なほどの細い道である。近年、この道を抜け道として使用するドライバーが目立つようになり、児童の通学時にすぐ横を高速度で通過するため危険度が高まっている。子どもたちの安全確保のため、通行規制をかけるなどの安全対策を要望する。	・通学路区間における歩行者専用道路の通行規制については、愛知県公安委員会が交通実態調査等により、その必要性を判断して行っている。 ・当該路線全体での交通実態を把握し、通行規制について愛知県公安委員会に働き掛けていくとともに、区画線修繕に加え、カラー舗装等による速度抑制も検討していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	・事故防止対策費（302百万円）



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
176	上郷	上郷地区14	広美町中之切交差点 歩行者用信号機設置	本交差点は広美町の中心に位置し、高嶺小学校や上郷中学校へ通う子ども達の通学路でもあるが、朝晩は交通量も多い。 地域の方々による通学時間帯の見守り活動も実施しているが、交差点の大きさの割に歩行者用の信号機が無いため、子どもが交差点横断中に信号が赤に変わってしまう事象が頻発し大変危険な状態である。令和4年以前より継続して設置を要望しており、積極的に推進を願いたい。	・歩行者用信号機の設置については、愛知県公安委員会が交通実態調査等により、その必要性を判断し設置を行っているため、引き続き愛知県へ要望していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	
177	上郷	上郷地区15	三河上郷駅を中心とした街の賑わい創出	都市計画マスタープランにて三河上郷駅は「拠点地域核」の一つとして位置付けられているが、駅舎のバリアフリー化や駅前整備も進まない状況にある。地域からは、従来より駅舎へのエレベーター設置の要望の声が大きく、バリアフリー法適用のガイドライン3000人/日の利用に達していないとはいえ、約2000人/日の利用者数はエレベータ未設置駅の中では最大規模であり、三河上郷駅へのエレベーター設置を継続して要望する。	・バリアフリー法の基本方針では、駅利用者が3,000人/日未満の鉄道駅のバリアフリー化は、鉄道事業者の任意であるが（三河上郷駅令和6年度利用者数2,128人/日）、超高齢社会の進展等を踏まえ、バリアフリー化未実施駅の現状把握や課題整理などを進めながら、駅ごとのバリアフリー化の方向性を整理していく。 ・バリアフリー化の際は、鉄道事業者からの支援要請に基づき、国の補助制度の活用を検討し、連携を図っていく。 （都市整備部 交通政策課）	
178	上郷	上郷地区16	枹塚西町自治区公園の新設および駐車スペース整備	1200世帯/3200人が暮らす自治区に対し、公園がふれあい広場の一箇所しかない。子どもの遊び場や地域の人たちの憩いの場としてだけでなく、災害時や緊急時の避難場所としての機能も果たす重要な施設である、自治区の規模に相応しい規模の公園建設を要望する。 また、備品や物資運搬に必要な車両駐車場の整備も併せて要望する。	・当該地域の公園配置状況等を踏まえ、都市計画公園・緑地見直しガイドラインに基づき、公園整備に関する検証を進めていく。 （都市整備部 都市計画課、公園緑地課）	・公園整備計画策定費（34百万円）

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
179	上郷	上郷地区17	柳川瀬公園の拡充整備	①全体施設を見直し、防災機能や世代間交流など多様なニーズに対応 市全体の公園計画で南部の拠点となる公園として整備 ②体育館のかさ上げ、防災再整備 水害リスクの高い地域に応じ防災機能をもった施設として整備 ③高齢者向け入浴施設をあわせて整備（老人福祉センターと同様な施設）周辺の自然、スポーツ施設も活用しながら高齢者の健康づくりを進める	①現在、当公園において施設の見直しの予定はないが、今後の社会環境の変化を踏まえ、多様化する市民ニーズ、地域特性等に応じた見直しが必要な場合については検討していく。 （都市整備部 公園緑地課、都市計画課）  ②柳川瀬公園については、既に災害復旧用オープンスペースや支援物資等受入施設の候補地としての防災機能を有しているが、今後、体育館の改修や公園の再整備が行われる場合には、防災機能の拡充に向けた検討を併せて行う。 （地域活躍部 防災対策課）  ・体育館の改修については、個別施設計画や、施設の老朽化の状況等を踏まえ検討していく。 （魅力創造部 スポーツ振興課）  ③老人福祉センター豊寿園は、令和6年度から令和8年度にかけて、長寿命化対応の大規模修繕を実施している。 当施設は市全域からの利用を想定していることや、柳川瀬公園から比較的近くに位置していることから、現時点で同公園内に当施設と同様の機能を有する施設の設置は検討していない。 （福祉部 高齢福祉課）  ・柳川瀬公園周辺では、多様な主体により、介護予防の取組や、スポーツ施設を活用した運動教室等の集いの場が展開されている。引き続き、地域資源を活用しながら、社会参加や多世代交流を通じて高齢者の健康づくりを進めていく。 （保健部 健康づくり応援課）	
180	上郷	上郷地区18	愛環北野柵塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備 ④宅地開発（一期工事は実施済み。2期工事に向けて）	・愛知環状鉄道北野柵塚駅周辺においては、駅が立地する岡崎市の土地利用の動向や駅周辺で行われた住宅開発との連続性等を踏まえ、駅を生かした土地利用計画について検討していく。 （都市整備部 都市計画課）	
181	上郷	上郷地区19	チョイソコにこにこバスの改善	①運行日を増やす 希望する日時に乗車できない状態を解消するため、毎週火・金曜日の2日運行から、1日を増やし週3日運行にする ②予約方法の改善 インターネット予約に比べ電話による予約ができにくい状態を解消する	・運行日数の増加に対しては、運転手の確保が必要であるが、運転手不足などへの対応方針として、現行の運行に関するサービス基準を維持することとしており、運行日数の増加は困難と考える。ただし、利用状況などを踏まえ、必要に応じて検討していく。 （地域活躍部 上郷支所、都市整備部 交通政策課）  ・インターネット予約の利用者増加に向け、今後も各種イベント機会などを活用して、操作支援や相談対応を行っていく。併せて、費用対効果などを踏まえながら、予約システムを管理している事業者と改善余地などを模索する。 （地域活躍部 上郷支所）	・地域交通推進費（16百万円）
182	竜神	高岡地区1	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、送迎の車の出入りで、その混雑はたいへん危険な状態となっている。また、駅周辺の大規模な宅地の開発計画が進む中で、駅舎全体の改修も含め、早期の乗降客の利便性の向上と安全対策を要望する。	・竹村駅への自動車による送迎等、駅利用者の利便性・安全性の確保が課題であり、乗降場の整備が必要であると認識している。そのため、地域住民との合意形成を図りながら、整備に向けた調整及び設計を進めている。また、駅舎等の鉄道施設については、複線化を見据え、早期整備を目指して、引き続き鉄道事業者と協議を進めていく。 （都市整備部 市街地整備課、都市計画課）	・竹村駅周辺土地利用調査費（24百万円）



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
183	竜神	高岡地区2	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区は、名鉄三河線竹村駅はあるものの、公共交通機関の空白地がある。高齢化により運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスや、デマンド交通など多様な制度を活用した、公共交通システムの導入を要望する。	・地域内における移動手段の確保については、「自助・共助・公助」による多様な移動手段を組み合わせ、持続可能な移動サービスを実現していくことが重要である。 ・各地域で移動先などのニーズが異なることから、まずは地域が主体となった勉強会等を通じて高齢者等の移動ニーズの把握に努め、市も住民共助による取組へ伴走支援を実施するなど、生活交通のニーズに合わせた取組を行っていく。 （都市整備部 交通政策課）	・住民共助交通推進費（1百万円） ・地域交通調査等支援事業費補助金（1百万円） ・共助タクシー運行支援事業費補助金（2百万円） ・住民共助輸送支援事業費補助金（2百万円）
184	高岡	高岡地区3	都市計画道路の事業化と安全対策  ／ 若林西町・若林東町	若林地区内にある都市計画道路の全線早期事業化を要望する。 現在、若林駅周辺では土地区画整理事業の計画や鉄道高架事業が進められているが、土地区画整理事業予定地区内の都市計画道路はその事業の一部として、また線路より東側の都市計画道路のみが事業化されているだけで全線を事業化する予定が未だにない。 特に、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業が予定どおり進んでいる現在、想定されていたとおり周辺渋滞を避けたり、若林3号踏切に高さ制限ができたためそれらを避けたりするために通過車両が生活道路にまで進入しており、周辺には小中学校の通学路もあり交通安全上非常に危険である。 また、将来に向けて若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の全線整備は、南部地区の安全安心まちづくりに大きな効果をもたらすと考える。	・若林地区内の都市計画道路については、まずは、（都）若林東西線の市道若林花園線から主要地方道豊田一色線までの区間において、令和8年度から工事に着手するなど、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業に関連する路線の事業推進を図っていく。 ・その他の都市計画道路については、若林駅周辺のまちづくり事業と整合を図りながら事業化に向けて検討していく。 （建設部 街路課、都市整備部 区画整理支援課）	・街路建設費（3， 7 8 3百万円）
185	高岡	高岡地区4	若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の改良と安全対策  ／ 若林東町	当初、上り戸交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外とし別事業で進める事とした。 しかし、未だその計画については示されてはおらず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなったとしても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想されるため、周辺で進められている事業（区画整理・鉄道高架など）に合わせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。 また、現在は仮表示となっているが鉄道高架化に伴う隣接する若林3号踏切箇所の高さ制限への交差点への侵入前までの注意喚起表示の設置	・若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の整備については、若林駅周辺のまちづくり事業や名鉄三河線高架事業の完了後の交通状況を踏まえ、引き続き整備上の課題や事業効果などを整理していく。 （都市整備部 区画整理支援課）  ・注意喚起表示の設置については、通行車両の状況などを踏まえ、豊田警察署の意見を確認しながら検討していく。 （建設部 街路課）	・街路建設費（3， 7 8 3百万円）

令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
186	高岡	高岡地区5	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線（土地区画整理地区外）の拡張／若林西町	若林神社前交差点は、北西方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先の上り戸交差点の渋滞するため、また地区外の車が通行しやすい若林 1 号踏切を横断するために右折をする結果、渋滞や接触事故が発生している。 現在、若園地区方面からの往来で若林花園線を使う車が増え交通量が増加しており、通行者や自転車などとの接触や若林花園線の横断がしづらい状況も発生している。 また、名鉄三河線高架事業の着実な整備は土地区画整理事業とは関係なく、さらに若林花園線を利用する人たちの増加を誘導し若林地区内に住む住民の安全を損なう可能性があるので早期に整備を要望する。	・市道若林花園線の拡幅及び若林神社前交差点については、若林駅周辺のまちづくり事業の進捗に合わせ、整備に向けて調整を図っていく。 （建設部 土木課）	
187	高岡	高岡地区6	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線  渋滞・安全対策／若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。 その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響している。 先日また、県道豊田一色線沿いの県営外根住宅とメグリア若園店の間について横断禁止の周知活動を行っているが、横断する人が亡くなっている。 早期に県と市の対応を要望する。	・県道名古屋岡崎線と県道豊田一色線が交差する若林東町棚田交差点は、主要渋滞箇所に選定されており、国・愛知県・警察等を含めた関係機関が参加する愛知県道路交通渋滞対策推進協議会を通じて、渋滞や生活道路への車両流入の軽減に向けて愛知県に働き掛けていく。 （建設部 建設企画課）  ・横断の抑制を図る対策を警察と協議し、県道メグリア側におけるガードパイプは設置済みではあるが、引き続き、愛知県に歩行者も含めた安全確保の更なる強化を働き掛けていく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	
188	前林	高岡地区7	名古屋岡崎線堤本町本地交差点改良の早期工事着手と歩行者用信号機の設置	県道56（平針街道）と県道284（知立宮上線）が交差する堤本町本地交差点は、近くに大規模工場がありその周辺には多くの流通業務施設が立地しており、通勤時間帯には激しい渋滞が発生し終日をとおして交通量が多い。 過去にも多くの事故が発生し、本市も対策が必要な個所として選定している。地域における交通の要所でもあり早期の右折レーン新設による交差点改良が求められている。令和5年度に地元説明も行われており、用地買収をすすめ交差点改良の早期工事着手を要望する。また、整備にあわせて歩行者用信号の新設を要望する。	・堤本町本地交差点の改良は、愛知県が早期の工事着手に向け、引き続き用地交渉を進めている。 （建設部 幹線道路推進課）  ・歩行者用信号機の設置については、愛知県公安委員会が交通実態調査等により、その必要性を判断し設置を行っているため、引き続き愛知県へ要望していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	・愛知県事業：交通安全事業
189	前林	高岡地区8	都市計画道路西岡吉原線と豊田刈谷線の事業推進と周辺生活道路の安全確保	都市計画道路西岡吉原線の早期着工へ向けた事業推進。 また、豊田刈谷線愛知県区間、豊田市区間における諸課題を早期に解決し、県と市で情報共有しながら事業進捗を図っていただくことを要望する。あわせて、周辺の市道整備と生活道路に対する安全対策を要望する。	・（都）西岡吉原線については、県道宮上知立線から（都）三好ヶ丘駒場線までの区間の用地取得や道路設計を進めるなど、事業推進を図っていく。 ・（都）豊田刈谷線の本田西岡工区については、引き続き、用地取得を行うほか、順次、本線工事を進めていく。 （建設部 街路課）  ・愛知県が担当する（都）豊田刈谷線大島工区については、設計及び物件調査を進めており、市も連携して事業促進を図っていく。 ・豊田刈谷線関連市道整備については、地域や関係機関と協議を進め、愛知県と連携して周辺道路の整備や安全対策に取り組んでいく。 （建設部 幹線道路推進課）	・街路建設費（3, 7 8 3 百万円） ・市道改良費 1 （4 2 9 百万円）



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
190	前林	高岡地区9	鴻巣池公園内のため池廃止とその後の有効活用	用水として利用されていない公園内のため池を地域の意見を確認したうえで、埋め立てを軸とした整備方針を考えていただきたい。鴻巣池公園は都市計画公園の中で近隣公園の位置づけであるが、現在は公園内の一部を多目的グラウンドとして利用できていることは大変ありがたい。埋め立て後の有効活用については、都市計画公園・緑地見直しガイドラインに照らし合わせた上で、多目的広場として地域が活用できるようなあり方を検討していただくことを要望する。また、区域内のトヨタ自動車住宅と寮に挟まれた突起しているスペースは未利用で草木や雑草が繁茂している状態のため、民間事業者の意思を確認しながら利活用の有無を判断していただくことをお願いしたい。	・鴻巣池公園内のため池の廃止については、地元の意向を確認し、廃止に係る排水計画や跡地利用などについて、関係課との協議調整を進め、事業化に向けた検討をしていく。 （産業部 農地整備課）  ・鴻巣池公園の活用方法については、ため池廃止に向けた取組状況を踏まえながら、都市計画公園・緑地見直しガイドラインに基づき、公園の在り方について検討をしていく。 （都市整備部 公園緑地課、都市計画課）	・ため池施設廃止費（12百万円）  ・公園整備計画策定費（34百万円）
191	前林	高岡地区10	高岡公園拡張整備後の公園整備	高岡公園の北東に位置する、既存の前林ふれあい広場と取得済み用地をあわせた面積約1.5haの公園区域に拡張整備工事を実施していただき、令和7年度に完成する。令和8年度から利用開始することが出来るが、将来的には、休憩施設等や植栽、トイレ、駐車場など地域や公園利用者の意見を聞きながら、以前ワークショップで話し合った内容を踏まえ、魅力ある公園整備を要望する。	・令和8年度からの開設に向けて公園整備を進めており、整備前の前林ふれあい広場よりも公園の環境は向上するものと考えている。公園開設後の利用状況等を確認しながら、今後の整備水準について整理していく。 （都市整備部 公園緑地課）	
192	前林	高岡地区11	西の池耐震性の補強、浸食部分の解消に向けた早期事業化	西の池は本市のため池の中でも耐震面で特に状態が悪いグループに位置付けられており、地域からも平成26年より要望がだされている。隣接する土地が浸食されている状態で、下流域には多くの宅地がある。耐震性の補強と同時に浸食による民地の回復を図り、畑灌のための水源、雨水調整のための機能を考慮しつつ、地域が望む水環境整備の事業方針を示し、早期事業化して頂くことを要望する。	・西の池の耐震化事業は、愛知県、豊田土地改良区とともに事業化に向けた検討を進めている。浸食地の解消については、耐震化事業では目的が異なるため、別途事業による対応も含め回復の手法等を検討していく。 （産業部 農地整備課）	
193	若園	高岡地区12	（都）西岡吉原線道路の整備事業	現在、名鉄高架事業に関連して中根町小沢までの道路整備が進められている。その先にある中根町地内の名鉄三河線踏切～吉原町地内（4-2工区）までの都市計画道路である西岡吉原線の道路整備に向けて、早期事業化を要望する。	・（都）西岡吉原線（4-2工区）については、若林駅付近連続立体交差事業に関連する名鉄三河線踏切から市道若林花園線までの区間において、令和7年度末の高架切替後に工事着手していく。その先の主要地方道豊田一色線までの区間については、現在進めている事業区間の整備状況を踏まえ検討していく。 （建設部 街路課）	・街路建設費（3,783百万円）
194	若園	高岡地区13	若林花園線の道路整備	若園小学校から湾岸道路下までの間は、メインの通学路であり、歩道の狭い箇所が多くあるため、雨天時や夏場の暑さ対策で傘をさして通学する際に、車との接触の危険があることや、ベビーカーが通れないなど地域からの要望がある。そのため、危険な個所の道路整備を要望する	・都市計画道路西岡吉原線、若林駅周辺、当該地周辺のまちづくり事業及び道路整備などによる交通需要の変化を踏まえ必要性を判断していく。 （建設部 土木課）	
195	若園	高岡地区14	馬の背下細池線の整備	トヨタ車体吉原工場から、県道56号線（平針街道）までの道路には、大型トラックをはじめ、比較的交通量も多いため、拡幅整備を要望する。	・市道馬の背下細池線の道路拡幅整備については、当該路線の利用状況や、将来の交通需要の変化を踏まえ必要性を判断していく。 （建設部 土木課）	

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
196	若園	高岡地区15	西岡可鍛跡地北側道路交差点の改良	西岡可鍛跡地の住宅開発が進められている。吉原通学1号線と若林中根線の交差点（陸橋ある地点）の交通量の増加および通学路としての道路が狭いため、交差点の改良を要望する	・令和元年に行った交通実態調査において、宅地開発による交通量増加では深刻な交通障害にはならないとの結果が出ており、現時点で交差点改良の必要性はないと判断している。一方、様々な要因で交通需要の変化が生じればその時点で交差点改良の必要性を判断していく。 （建設部 土木課）	
197	猿投台	猿投地区1	猿投台交流館新築	猿投台交流館は、建設当時から大会議室、作業室、職員休憩室など設置されていない。また、多目的ホール、駐車場は狭隘で二十歳の集いなど大規模イベントができない。年々、利用者も増加し、貸館事業にも支障をきたしている。早急に新たな交流館の建設を要望する。	・交流館の建設は、公共施設等総合管理計画、公共建築物個別施設計画に基づき、施設の目標使用年数を60年以上、建替え時は中学校との複合化を原則としている。 ・利用者の増加等による不足する機能への対応については、現在検討中の学校施設の利活用を進めるとともに、令和6年度生涯学習審議会できとりまとめた交流館機能を具体化するためのモデル実証等を通じて、交流館の整備方針を整理していく。 （地域活躍部 地域交流課）	・交流館活用事業費（6百万円）
198	猿投台	猿投地区2	前田公園整備推進	前田公園周辺は宅地開発も進み、人口も増加しており、市民広場条例の位置づけから都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。現在、問題である借地を市有地とするための諸課題を解決すべきである。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。地主は寄付意向の考えもあり、前向きな対応を要望する。	・市民広場である前田公園には、個人所有の石碑があることや、近接する平戸橋公園との配置状況（誘致距離）など、都市公園法上の課題がある。引き続き、民芸館や民芸の森等の周辺施設との連携による公園機能の向上を図るとともに、地域や地元団体との共働により、これらの課題解決に向けた取組を行っていく。また、公園用地の寄附に関しては、寄附を受ける上での条件整理等を踏まえ対応策を検討していく。 （都市整備部 公園緑地課、美術・博物部 博物館、地域活躍部 猿投支所）	
199	猿投台	猿投地区3	矢作緑地平戸橋周辺整備事業	平戸橋から荒井周辺までの矢作川周辺右岸について一体性を持たせた緑地公園として整備する。猿投台地域会議では、まちづくりビジョンを策定し、地域が主体となって河川敷の整備活動を展開している。行政任せではなく、まさに共働の精神に基づいた市民活動を展開している。河川管理者は愛知県であり、事業をする上での占有許可など煩雑な事務処理も多いので市として公園の位置づけ（公園区域の拡大）をすれば、住民の皆さんの活動が容易になる。特に、平戸大橋下の空間は、現在、地域の皆さんが草刈り等を行っており、せめて広場として環境整備すべきである。	・平戸橋から荒井町周辺までの矢作川右岸については、矢作緑地の区域内に平戸橋公園、越戸公園、荒井公園が既に開設されており、当地区において更に新たな公園整備及び公園区域の拡大の予定はなく、平戸大橋下の空間においても同様である。 ・地域主体の河川敷の整備活動について、引き続き協力及び支援を行っていく。 （都市整備部 公園緑地課）	
200	猿投台	猿投地区4	名鉄越戸駅のバリアフリー対策推進	令和4年度に駅前広場、越戸停車場線が整備をされた。本来、鉄道事業者が行うべきバリアフリー対策であるが事業化進展のかけらもない。高齢社会の進行に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を市として整備すべきと要望する。過去に3000名以上の皆さんが設置要望を市長に提出している。また、昨年12月、自民クラブ議員団より鉄道駅のバリアフリー化を要望している。	・バリアフリー法の基本方針では、駅利用者数が3,000人／日未満の鉄道駅のバリアフリー化は鉄道事業者の任意であるが（越戸駅 令和6年度利用者数973人／日）、超高齢社会の進展等を踏まえ、バリアフリー化未実施駅の現状把握や課題整理などを進めながら、駅ごとのバリアフリー化の方向性を整理していく。 ・バリアフリー化の際は、鉄道事業者からの支援要請に基づき、国の補助制度の活用を検討し、連携を図っていく。 （都市整備部 交通政策課）	



令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
201	井郷	猿投地区5	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し 早期整備・早期開通	御船町の大釜地域は、大釜橋が唯一の通路となっており、万が一この大釜橋が崩落した場合は、大釜地域が、孤立します。勘八峡線の早期整備を要望します。	・（都）勘八峡線については、大釜地区の孤立化リスク低減や用地取得済箇所の早期整備に向け、本線と交差する名鉄三河線廃線敷掘割部の盛土工事に令和 7 年度から着手しており、令和 8 年度も引き続き、盛土工事を進めていく。 （建設部 街路課）	・街路建設費（3, 7 8 3 百万円）
202	井郷	猿投地区6	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し 早期整備・早期開通	猿投学校通り線の早期実現を要望します。	・（都）猿投学校通り線については、早期事業化に向けた関係機関との協議調整を進めていく。 （建設部 街路課）	・街路建設費（3, 7 8 3 百万円）
203	井郷	猿投地区7	豊田市運動公園内部までの交通アクセスの整備	運動公園までのアクセスとして、おいでんバスがあるが、バス停が公園の外部から500mほど離れたところがあり、利用しづらくなっている。公園内部（野球場前・体育館）にバス停を設けていただき利便性を図っていただく事を要望します。	・公園内部のバス停の設置については、対象となるとよたおいでんバスさなげ・足助線が、猿投駅、四郷駅、浄水駅の各鉄道駅、拠点停留所である広瀬バス停と接続する路線であることから、鉄道とバス、バス同士のダイヤの整合性等を踏まえる必要がある。当路線の利用状況を踏まえ、さなげ・足助線の全体ルート再編等を検証していく。 （都市整備部 交通政策課）	・地域公共交通計画推進費（3 百万円）
204	井郷	猿投地区8	旧多治見線、四郷町東畑交差点信号の右折矢印の追加	旧多治見線において、南から北に向かったの交通量が多く、四郷町東畑の交差点においては右折車両が多く並び、渋滞が発生する。渋滞解消のためにも、四郷町東畑交差点の信号に右折矢印の設置を希望します。	・右折矢印信号機については、愛知県公安員会が交通実態調査等により、その必要性を判断し設置を行っているため、愛知県へ要望していく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	
205	井郷	猿投地区9	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の親水公園整備	水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望します。	・準用河川水無瀬川については、自然石を使用するなど環境に配慮した工法により修繕を実施していく。 （建設部 河川課）  ・布袋池は、水質確認を継続していく。 （魅力創造部 スポーツ振興課）	・河川修繕費（4 3 7 百万円） ・豊田市運動公園 管理運営費（1 3 6 百万円）
206	猿投	猿投地区10	（仮）加納 2 号橋新設事業（市道加納 1 号線）	市道加納 1 号線は、供用開始後 1 5 年以上が経過するも、加納川に架橋されている橋は、新設されず現在に至っている。その理由は県河川の拡幅計画に合わせ事業化することであるが、いまだ河川の事業化のめどもなく、現橋梁幅員が 2 m と狭く危険であるため早期の事業化が必要である。	・加納川の改修時期は未定であり、市道中切金山線へのアクセス機能を確保するため、市道森元馬道通り線の拡幅整備を行っていく。 （建設部 土木課）	・市道改良費 2 （5 2 9 百万円）
207	猿投	猿投地区11	道路舗装修繕（市道中切金山線）」	本市道は、猿投北部地域の幹線的道路であり、沿線にはトヨタ紡織猿投工場、そして旧藤岡地域と中心市街地を結ぶ道路であり、交通量も多く、大型ダンプなどにより、路面の損傷が大きく、これまでの随時修理はしていただいておりますが、凹凸箇所が多くあり、沿線の住民から騒音など苦情があります。つきましては、亀首町森腰から舞木町交差点の全面修理を要望します。	・市道中切金山線については、令和 6 年度に実施した路面性状調査の結果、路面の劣化等が確認されたので、令和 7 年度に作成した舗装修繕計画に基づき、令和 8 年度以降順次舗装修繕工事を実施していく。 （建設部 道路維持課）	・道路修繕費（1, 6 6 3 百万円）

令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
208	猿投	猿投地区12	地域の文化財を生かしたまちづくり事業の推進	猿投神社周辺には、平成 2 9 年に旧龍性院庭園が国の文化財指定を受け、平成 2 9 年～ 3 0 年で保存活用計画がまとめられた。また令和元年に山中観音堂の文化財指定、令和 3 年 1 月に山中観音堂千手観音が県文化財にされた。今後、これらの地域文化財を生かしたまちづくり事業が求められ、棒の手会館のリニューアル事業とともに第 9 次総合計画において整備されることを要望する。	・名勝旧龍性院庭園は、今後もその魅力や価値を損なわないようにするため、用地を取得し適切な管理や支援を行っていく。 ・令和 8 年度に実施する棒の手会館の展示リニューアルでは、体験型の展示を取り入れるなど棒の手を身近に楽しく学べる施設にするとともに、棒の手と関わりの深い猿投山や猿投神社に加え、名勝旧龍性院庭園や山中観音堂など地域資源の情報発信拠点として整備する。 （美術・博物部 文化財課）  ・これらの整備を通して、歴史文化や観光など貴重な地域の文化財の魅力を広める様々な視点から、文化財の総合的かつ一体的な保存と活用を推進し、地域住民とともに取り組んでいく。 （美術・博物部 文化財課、魅力創造部 観光誘客推進課）	・旧龍性院庭園保存活用整備費（ 1 百万円） ・猿投棒の手ふれあい広場 施設整備費（ 1 0 3 百万円）
209	保見	猿投地区13	市道事業化・早期着工・前倒し早期整備 伊保貝津線の延伸 伊保町～保見町	現在、県道 5 8 号足助線が、朝夕の渋滞により地域住民の生活に影響が出ている状況である。伊保町にあるトヨタ紡織はじめ企業従業員の通勤や工場に出入するトラック等による渋滞が発生し、交通事故も増えている。市道整備により県道足助線の渋滞緩和と歩車分離が進み、地域住民の安全確保ができる。現在、県道加納・東保見線への接続に向けたルート（貝津町～東保見町）で、整備を検討いただいているが、当初計画であった保見町までの延伸を要望する。	・市道伊保貝津線については、県道加納東保見線までの道路整備に向け、引き続き地権者への説明、関係自治区と調整等を行っていく。また、市道保見浄水線への接続については市道整備の事業効果や都市計画道路など周辺道路の整備状況等を踏まえ、整備の判断を行っていく。 （建設部 土木課）	・市道新設費（ 4 3 3 百万円）
210	保見	猿投地区14	都市計画道路区間の早期事業化・着工 県道豊田知立線田舩～三好ヶ丘名古屋豊田線 田舩～亀首	地域内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。理由①国道155号線及び県道足助線の交通量の増大から慢性的渋滞があり、また子供たちを交通事故から守る為。理由②広域交流・都市間交流を支える道路である155号線が片側 1 車線であり、日常的に渋滞が発生している。隣接する長久手市、日進市から通勤者の車が流入している。また企業誘致の面からも交通事情が改善されなければ誘致がむづかしい状況である。市が進める経済都市の成長と安心安全な街づくりの為には早期事業化が重要である。また県道 5 8 号は尾張三河と信州方面を結ぶ伊奈街道（明治以降は飯田街道）と呼ばれ、物流の重要な道であった。豊田市は東西に走る道が少なく、慢性的に渋滞が発生する状況の為、周辺の街が発展できずに、すたれてしまった。③南北バイパスの北バイパスが令和 8 年に一部開通が見込まれ、保見地域への車の流入が増加すると考えられる。交通渋滞対策を考える必要があり、早期に対策を要望する。	・（都）豊田知立線及び（都）名古屋豊田線は、今のところ事業化は未定であると愛知県から聞いている。 ・広域交流・都市間交流を支える両路線は、地域交通の円滑化に寄与し、暮らしの質の向上を図る幹線道路でもあることから、周辺土地利用の状況や交通課題、周辺幹線道路ネットワークの整備状況を踏まえ、愛知県に働き掛けていく。 （建設部 建設企画課）	
211	保見	猿投地区15	国道 1 5 5 号のバイパス構想の事業化	保見地区は慢性的に交通渋滞を起こしている地区であり、住民にとって交通の利便性を図ることが悲願である。 2 5 年前に起きた東海豪雨時には国道 1 5 5 号の大畑地区において、道路の崩壊があり通行止めとなり豊田と瀬戸間の通行が出来なくなった状況があった。国道 1 5 5 号は緊急輸送道路であり本市にとっては大変重要な道路である。早期の事業化を要望する。	・国道 1 5 5 号は本市幹線道路ネットワークの放射機能の一部を担う道路であり、朝夕には大井橋を中心に交通集中が発生していると認識している。 ・国道 1 5 5 号のバイパス構想については、周辺土地利用状況を踏まえつつ、（都）豊田知立線及び（都）名古屋豊田線を含む北部地域における幹線道路ネットワークの構築とともに検討を進めていく。 （都市整備部 都市計画課、建設部 建設企画課）	



令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
212	保見	猿投地区16	保見町から伊保町にかけての緑の外環の廃止	現在、市が定める緑の外環を廃止することを要望する。保見町から伊保町にかけて、指定されている緑の外環は制定された平成 3 0 年と比べ、都市事情が変化し、現在では当初目的から外れており、廃止することが妥当と考える。市街地周辺にある都市近郊林や農地からなる環状緑地帯として位置づけられ、生物多様性の保全や都市の景観形成を維持するためとされているが、現在では都市の形成を阻んでいる状況と考える。保見地域の緑の外環は鉄道豊田新線浄水駅と愛知環状鉄道保見駅・貝津駅に挟まれた地域にあり、これから本市の都市形成において、開発を進めるべきところであると考え。市民にとって、利便性の高いところに都市開発をすることは大変有意義である。令和 7 年度に、計画する緑の基本計画や立地適正化計画の見直しの中で、要望する。	・第 9 次総合計画の将来都市構造の実現に向けては、鉄道沿線などにおいて利便性の高い市街地の形成を図る一方、緑地・農地等の自然的土地利用との調和を図ることが将来にわたり必要である。 ・この方針の下、緑の外環については、土地利用関連計画の改訂の中で、整理していく。 （都市整備部 都市計画課）	・都市計画マスタープラン策定費（1 1 百万円）
213	保見	猿投地区17	保見町から東保見町にかけての土地区画整理事業	現在、本市において進める都市づくりはコンパクト＆ネットワークとされています。利便性の高い地域に都市開発をすることが有意義と考え、愛知環状鉄道保見駅周辺を開発することが市が定める駅周辺の開発と合致している。保見町から伊保町にかけて広がる農地は、農業振興農地のため開発をすることができない農地であります。しかしながら農業を今後も継続して行うことを希望する農家は少なく、高齢化に伴い離農する農家が増え、耕作放棄地も増加している。農業振興政策は現在では当初目的から外れており、開発を進めるべきと考える。保見町及び東保見町が合同で、土地区画整理事業を考える会を昨年度より立ち上げ、住民一丸となって進めている。保見地域は鉄道駅豊田新線浄水駅と愛知環状鉄道保見駅に挟まれた地域にあり、これから本市の都市形成において開発を進めるべきところであり、この地域を土地区画整理事業で開発することを要望する。	・当該地区のまちづくりについては、農地等との調和を前提に、第 9 次総合計画における将来都市構造の考え方を踏まえつつ、地域主体のまちづくりについて支援していく。 （都市整備部 都市計画課、市街地整備課）  ・当該地区は農業振興地域農用地に指定されているなど、本市における重要な農地として位置付けていることから、地域のニーズ等のほか、本市の農業施策の観点から支障のない範囲で許容していく。 （産業部 農政企画課）	
214	石野	猿投地区18	国附自治区と小峯自治区の道路整備	小峯町と国附町を結ぶ市道 7 4 9 小峯国附線の道路幅が狭いうえ道路上に木や竹が蔽いかぶさり風雨時の倒木があった都度住民が撤去している。自転車通学の通学路にもなっており危険なため、障がい木の撤去並びに道路拡幅の検討を行っていただくことを要望する。	・当該路線の障がい木の撤去などは通行に支障が出た場合、地権者と連携し安全に通行できるように対応していく。 （建設部 道路維持課）  ・道路拡幅については、地域特性や交通状況を踏まえ、必要性を判断していく。 （建設部 土木課）	・道路等管理費（1, 1 3 1 百万円）
215	石野	猿投地区19	市道東広瀬 2 号線東広瀬下切地区上り坂通学路安全整備	令和 5 年度に下切区長より市道広瀬 2 号線の上り坂付近の横断歩道は子供たちの通学路にもなっているが、道路拡幅後、車の通行量も増加しており危険なため、ぴかっとわたるくん等の設置により早急にこども達の安全確保対策を要望する。またそこから県道 3 5 5 号線島崎豊田線の交差点横断歩道に向け急な下り坂となっており注意喚起等の標記を要望する。	・愛知県公安委員会との協議により、市道東広瀬 2 号線の横断歩道付近は勾配が急なため速度が超過しやすく、「ぴかっとわたるくん」の設置には適さないとの判断がなされている。 ・注意喚起標識や路面標示の設置はすでになされているが、より速度抑制を図るため、追加設置や既設の改善を進めていく。 （地域活躍部 交通安全防犯課）	・事故防止対策費（3 0 2 百万円）

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
216	石野	猿投地区20	東広瀬こども園駐車場整備	令和6年度下切区長より工事申請が出されておりますが、下切、石野、勘八地区で転入者の方が増え、それに伴い東広瀬こども園の入園者が増え大変喜ばしい事ではありますが、こども園駐車場の出入り口が一か所しかない為、保護者の皆さんが県道355号島崎豊田線にて待機することが多くあり特に雨の日は普段歩いて登園される方も車を利用され安全・安心の観点及び震災等の緊急時出入り口が1か所しかないため駐車場の整備拡充を要望する。	・東広瀬こども園の駐車場については、令和8年度の出入口の拡張に伴う駐車場整備の検討を進めている。 ・現在は、混雑時に保育士等が車両誘導を行うなどの対応を行っている。 （こども・若者部 保育課）	・諸宮繕工事（572百万円）
217	石野	猿投地区21	ラムサール登録湿地である上高湿地の避難所設置	ラムサール登録されている上高湿地において、湿地内では携帯電話の電波のすべてが全キャリアにおいて圏外であり、かつ上鷹見小学校の児童および上高湿地を守る会が年間15回以上湿地保全活動を行っており、近年激しくなっている突然の大雨や落雷が起こった場合に命を守るべき避難所がありません。子どもたちや保存会の方の安全・安心を踏まえ活動していく為にも、環境を考慮したうえで、早急に避難所の設置を要望する。	・上高湿地における突然の大雨などの緊急時の対応として、通信手段の確保を検討するほか、当面は、仮設テントなどで対応する。 ・避難所の設置については、今後の上高湿地の保全・活用の在り方を含め、建屋の必要性、活用方法など「上高湿地を守る会」に検討スケジュールを示しながら協議していく。 （環境部 環境政策課）	・湿地保全促進費（24百万円）
218	藤岡	藤岡地区1	藤岡生活拠点（地域核）周辺環境整備	支所・交流館の合築建替えを中心とした藤岡地域核エリアの整備については、令和4年度にアクセス道路の整備を終え、一連の都市再生整備計画事業が完了したものの、それ以降の藤岡生活拠点（地域核）周辺のまちづくりや賑わいを創出するための予算および取組が見受けられない。 飲食店など商業店舗が減少を続け、子育て世代が他地区へ移り、人口減少、高齢化が加速している現状を看過すべきではない。 令和7年度の商業施設進出を好機と捉え、支所・交流館を拠点とした日常生活を支えるために必要な暮らし機能と居住促進地区として居住の維持・誘導によるまちづくりをこれまでの延長線上にない新しい発想とチェンジ・チャレンジ思考で早期に着手することを要望する。 また、令和6年6月26日に藤岡地域全体の総意として要望があった支所の南部方面からの利便性向上に向けた国道419号から乗り入れる市道の新設をはじめとした道路環境等の整備の早期実現と持続可能な賑わい創出、地域資源の有効活用を要望する。	・藤岡生活拠点（地域核）周辺への居住の集積によるまちづくりの実現に向けて、引き続き庁内関連部局間の横断的な調整協議を行うとともに、交流館、商工会及び観光協会など地域と連携して、生活拠点のにぎわい創出に向けた取組を進めていく。 （地域活躍部 藤岡支所、都市整備部 市街地整備課、都市計画課、建設部 土木課）	・地域自治振興費（3百万円）



令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
219	藤岡	藤岡地区2	藤岡支所周辺道路 網整備	藤岡北部および小原地区西部と市街地を結ぶ道路として 県道北一色東広瀬線が利用され、その途中まで片側一車 線整備が完了しているものの、途中から幅員が狭小と なっている。 本県道は瀬戸市から豊田市への通勤の利用も多い。 しかし、多くの車両は国道 4 1 9 号を利用し、藤岡南部 や豊田市街地に移動をするため、道路狭隘部分で渋滞が 発生する。 藤岡飯野町交差点の交通量調査を実施し、現状を確認す るとともに、幅員の広い市道の新設または現道拡幅を要 望する。 関連市道：60111 藤岡北一色迫線 60116 藤岡飯野迫 線 60327 藤岡飯野駄知線	・ 藤岡支所周辺の道路整備については、生活拠点エリアのまちづくりの 方向性を踏まえた地域の円滑な交通処理に向け、検討を行っていく。 （建設部 土木課）	
220	藤岡	藤岡地区3	藤岡木瀬瀬戸線道 路拡幅	藤岡木瀬瀬戸線は、藤岡北部と瀬戸市、藤岡東部と小原 地区を結ぶ道路として、多くの人が利用をしている。 また、藤岡地区の上水道の基幹施設である、石飛配水場 も本市道を利用して送水・管理をされている。 しかし、道路途中から狭隘となっており、一部舗装がさ れていない区間もある。 道路拡幅および路面舗装を要望する。 関連市道：60108 藤岡木瀬瀬戸線	・ 道路拡幅については、狭窄部の用地確認を行っていくとともに道路の 利用状況を踏まえ整備の必要性について検討をしていく。 （建設部 土木課）  ・ 舗装修繕については、地域において隣接の土地所有者との調整が整い 次第、順次実施していく。 （建設部 道路維持課）	・ 道路修繕費（1, 6 6 3 百万円）
221	藤岡	藤岡地区4	市道藤岡飯野広瀬 線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線は大型車両の通行も多く、朝の通勤 時には国道 4 1 9 号藤岡飯野交差点の渋滞回避の車両も 多い道路である。 一部では改良を進めているものの、歩道のない区間も多 く残り、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされ ている。 グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件 であるため、早期の改良整備を要望する。 また区域内の飯野川に架かる昭和橋の歩道部分が新設し た歩道と向かい側にあり、連続して歩道空間を歩くこと ができないため、歩道空間の付け替え、もしくは歩道橋 の新設を要望する。 関連市道：60110 藤岡飯野広瀬線	・ 当該路線の道路改良については、まずは用地確保ができた区間につい て整備を行っており、昭和橋の歩道付け替えについては、令和 8 年度に 設計を実施していく。その他の狭あい区間については現道幅員内におい て実施が可能な安全対策を行っていく。 （建設部 土木課）	・ 歩道設置費（3 0 4 百万円）
222	藤岡	藤岡地区5	御作こども園遊休 地の有効利用	御作こども園は令和 4 年度から休園し、令和 7 年 3 月 3 1 日をもって閉園となり、今後の利活用を地域と協議の 上、決定していくとしている。 御作小学校区の地域住民としては、建物を解体して地域 の観光資源である「ふじの回廊」の駐車場および災害時 の緊急避難場所としての活用を求めている。 地域の声を第一にした土地の有効活用を要望する。	・ 旧御作こども園については、令和 8 年度に園舎等の解体を進める予定 である。 ・ その後の跡地については、地域要望や地域住民、関係団体の意見等を 踏まえ関係課と協議し、今後は「ふじの回廊」の駐車場として有効活用 していく。なお、緊急避難場所としては、御作小学校を活用していく。 （地域活躍部 藤岡支所、防災対策課 こども・若者部 保育課）	・ 諸営繕工事（5 7 2 百万円）  ・ 地域課題解決事業費/地域観光交流費（3 0 百万円）

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
223	藤岡南	藤岡地区6	西中山町辻貝戸交 差点改良工事	広瀬工業団地、愛知県緑化センター、昭和の森へ国道からアクセスする市道との交差点で、特に国道南から西広瀬工業団地に向かう右折車両と国道北から通学する児童・生徒の横断が交錯して渋滞が激しくなっている。また、東側高台に新たな住宅団地が販売を開始したことから、今後更に朝夕の渋滞が予想されるので、右折車両信号の設置等早急な対策を要望する。	・西中山辻貝戸交差点における通学路の安全確保、交通の円滑化を図るため、愛知県と連携し、交差点部の歩道設置や一部車線の拡幅を進めており、令和7年度に完了する。 （建設部 幹線道路推進課）	・市道改良費1（429百万円）
224	藤岡南	藤岡地区7	県道北一色東広瀬 線田茂平地区歩 道・横断歩道設置	歩行者の安全を確保するため、早期の歩道設置を要望する。 （令和3年4月21日愛知県豊田加茂建設事務所森道路整備課長と伊藤課長補佐、三宅田茂平自治区長始め役員様、鈴木県議と現地視察をした。）	・県道北一色東広瀬線は、愛知県が歩道設置を進めており、川側の歩道設置が完了している。 ・山側については、未取得地の所有権の移転に関して法務局と調整中であり、用地取得完了後、整備工事に着手していく。 （建設部 幹線道路推進課）	・愛知県事業：県道北一色東広瀬線
225	藤岡南	藤岡地区8	深見常楽交差点県 道深見亀首線（北 側）歩道設置	国道419号に接続する路線（交差点）は、小・中学校の通学路としての利用をはじめ、高校生の通学やバス停へのアクセスなど、地域に幅広く利用されており、歩道の設置が早急に必要な交差点である。 猿投神社方向の道路の片側（団地側）は児童が通学路として通行するもののポストコーンのみの設置となっている。安全向上が図られているものの、強度は無く防護柵としての役割はない。小中学校の通学路でもあるのでガードレールもしくはガードパイプの設置を要望する。	・県道深見亀首線は、愛知県が歩道設置に向け、設計が完了し令和8年度から用地調査を進めていく。 （建設部 幹線道路推進課）	・愛知県事業：県道深見亀首線
226	藤岡南	藤岡地区9	国道419号バイパ スの早期整備	国道419号西中山地内の渋滞緩和のため、早期整備を要望する。令和元年8月24日国道 419号4車線化整備促進期成同盟会を設立（4月26日総会において次期事業化個所は東海自動車道豊田藤岡インター西のロータリーから現道419号までと決定した。今後、本庁に要望）	・国道419号西中山バイパスは、愛知県が（都）藤岡インター線交差点から北側の国道419号交差点までの事業を進めており、令和6年度は喜光寺川函渠工事が完了した。 ・用地未取得の区間については用地調査を進めており、用地取得済区間については、工事に向け関係機関との協議を実施している。 （建設部 幹線道路推進課）	・愛知県事業：国道419号
227	藤岡南	藤岡地区10	藤岡南交流館新築	現在の藤岡南交流館は老朽化が進み、地域の人口も増加する中、館の面積も狭く、新設を希望します。	・交流館の建設は、公共施設等総合管理計画、公共建築物個別施設計画に基づき、施設の目標使用年数を60年以上、建替え時は中学校との複合化を原則としている。 ・利用者の増加等による不足する機能への対応については、現在検討中の学校施設の利活用を進めるとともに、令和6年度生涯学習審議会できりまとめた交流館機能を具体化するためのモデル実証等を通じて、交流館の整備方針を整理していく。 （地域活躍部 地域交流課）	・交流館活用事業費（6百万円）
228	藤岡南	藤岡地区11	西中山町崩ヶ崎浸 水対策の対応工事	豪雨が発生すると、住宅地内の道路が一部浸水するため、早期の工事を要望する。	・当該地区の浸水対策として、部分的な道路側溝の付替えにより流下能力の改善を図った。今後、更なる浸水被害を軽減するため、バイパス管路の整備を進めていく。 （建設部 河川課）	・排水路改良費（588百万円）



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
229	小原	小原地区1	市道築平川下・小原大草足助線／築平・川下・李・鍛冶屋敷・小原町	国道419号と県道豊田明智線（小原、足助・旭地区を結ぶ）は、重要市道であるとともに、観光拠点である四季桜の里と香嵐渓などを結ぶ観光バス路線としての重要性が高い。大型観光バスの通行と一般車両が安全に対面通行できるように視距改良・道路拡幅改良を引き続き要望する。また現在進められている市道築平川下線に引続き、市道小原足助線の改良計画・調査に着手し、切れ目のない施工の継続と早期の道路改良の完了をお願いしたい。	・市道小原築平川下線については令和7年度の整備に引き続き、狭小区間に対して待避所設置や視距改良の整備を進めていく。市道小原大草足助線、市道小原李川下線については市道小原築平川下線の整備と並行して現地踏査等に着手していく。 （建設部 土木課）	・市道改良費2（529百万円）
230	小原	小原地区2	和紙のふるさとの敷地を造成し、文化・観光・地域の拠点をつくる／永太郎町	和紙のふるさととは愛知県所有の土地を豊田市に無償貸与されている。愛知県の承諾を得て国道419号に隣接する保安林部分の敷地を切土造成し、仮称「おばら里の駅」として和紙工芸品や小原の特産品の販売、ラリー客の受け入れが出来る施設を建設して賑わいの創出と和紙工芸や小原歌舞伎などの伝統文化の活性化と継承を推進する。また、地域の子供からお年寄りが集える「総合学習スペース」の建設によって地域の拠点を整備し、安心で安全な子どもの居場所づくりと高齢者などの活躍の場の創設することによって、魅力ある地域づくりを確立し、定住促進に繋げる施設整備を要望する。尚、この要望の財源は地域振興基金の活用を希望する。	・おばら里の駅については、第2期おばらみらいプランにおいて地域課題解決事業等により既存施設を活用しながら必要な事業などの検証を行い、令和10年度に最終的な構想をまとめる予定である。 ・現在、小原地域会議において、おばら里の駅の機能について、地域にとって必要な機能やその実施主体などの議論を進めており、令和8年度は地域会議の提言に基づき必要に応じて事業化を検討する。 ・和紙のふるさとの国道419号と接する部分の切土造成については、和紙のふるさとの機能の在り方に関する検討が必要であり、その方向性を踏まえて、測量・調査等の必要性を検討していく。 ・和紙のふるさとの敷地は保安林も含め愛知県所有であり、調査に当たっては愛知県と連絡調整を図る必要がある。 （地域活躍部 小原支所）	
231	小原	小原地区3	市場城跡の調査の推進と石垣の修復と観光地としての整備／市場町	市場城跡は、昨年から発掘調査を本格的に開始している。調査には主に地元住民の協力によって行われているが、予算の確保などにより人員を確保し調査を迅速に進め、調査結果に基づいた復元や石垣の修復並びに観光地としての本格的整備を要望する。特に石垣は修復しないと崩壊の恐れもあり、安全の確保も必要になってくる。	・令和6年度から実施している発掘調査の結果を踏まえ、文化財課と小原支所で連携して地域住民と共に活用方法の検討・調整を進めていく。また、石垣や遺構を含めた城跡全体の現状把握のための調査を実施する。 ・石垣等の遺構の修復については、地域住民と調整の上、城跡としての価値を損わない整備方針を検討していく。 （美術・博物部 文化財課、地域活躍部 小原支所）	・地域課題解決事業費/地域文化財活用費（4百万円）
232	小原	小原地区4	川見四季桜の里回遊路・橋梁整備／川見・雑敷・上仁木町	川見四季桜の里については、愛知県が河川敷の整備等積極的に支援して頂いている。そこで本市においても田代川の両岸の回遊歩道を整備し最上流箇所到现在する橋の架け替えと上仁木駐車場から柿ヶ入（左岸側）に渡ることができる人道橋の架設によって四季桜まつりの時期により多くの出店を可能にして、川見四季桜公園を持続的観光地として総合的に整備することを要望する。尚、河川管理者である愛知県は、川見四季桜公園の整備に全面的に協力して頂ける確約が取れている。	・災害等により荒れた回遊路等の修繕等を行い、持続的な観光地としての整備を図る。 ・田代川両岸の回遊歩道等の整備については、四季の回廊ミュージアム構想に基づく事業は一旦完了しており、現時点で新たな整備は考えていないが、引き続き観光客のニーズ把握や導線の分析を進めていく。 （地域活躍部 小原支所）	・四季の回廊施設整備費（12百万円） ・四季の回廊施設管理費（11百万円）
233	小原	小原地区5	旧老人憩いの家跡地の市有財産を活用した宅地整備／永太郎町	旧老人憩いの家（永太郎町）跡地の市有財産が更地のまま放置されている。当地は国道419号沿線であり路線バスの停留所も近く、宅地として低廉な価格で分譲することによって、若者の移住定住を促進するには好立地である。用地内に民有地等の存在などの懸案を出来る限り早く解決して、宅地として分譲販売を早期に希望する。	・具体的な活用策については、地域の実情や物件の特性、周辺環境などを踏まえ、早期利活用に向けて検討を進めていく。 ・用地内の民有地の取り扱いについても、活用策を検討する過程において整理していく。 （総務部 財産管理課、地域活躍部 小原支所）	・財産管理費（56百万円）

令和 8 年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和 8 年度当初予算） その他参考事項
234	足助	足助地区1	香嵐溪100年プロジェクトの推進	香嵐溪飯盛山のモミジは、生育環境の悪化や樹勢の衰えがあり、景観の質の維持、向上を図る整備を推進すること。あわせて、通年の観光地化、市民に愛される場を目指し、将来にわたり景勝地として継承されるための仕組みづくりを地域とともに構築すると共に、香嵐溪園地の老朽設備の早期更新、新たな魅力を創出する施設整備を行うこと。	・令和 5 年度に策定した樹木整備実施計画及び樹木管理マニュアルに基づき、モミジの育成に影響を与える巨木化したスギの伐採を実施するとともに、日頃のメンテナンスを地域との共働により実施していく。 ・通年の観光地化及び市民に愛される香嵐溪を目指し、令和 6 年度に策定した香嵐溪活性化計画に基づき、遊歩道など園地内の老朽施設のリニューアルを進める。 （地域活躍部 足助支所）	・香嵐溪再整備費（４ 9 百万円）
235	足助	足助地区2	伝統的建造物の保存・活用と足助まちづくりビジョンの推進	この地区の中心エリアは重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その修理等には補助金が受けられるなどのメリットがある一方、修理等は厳しい基準に従わなければならない、事実上は除却も許されないなど大変な制約を受けている。このような中、空き家や必要な修理がされない家が増加している。修理等補助金枠の増額や地域団体等が実施する事業等への支援をすること。また、市が所有する伝統的建造物の整備を行い、保存・活用を積極的に推進し、このエリアを地域の核として再生し、持続可能な地域への転換を図ること。	・令和 3 年度に特定物件の現況調査を行い、所有者に建物の状況をお知らせするとともに、修理が必要な場合は補助の活用を勧めることで、修理事業へとつなげている。 ・重要伝統的建造物群保存地区選定から 1 0 年以上経過する中で、建物所有者の代替わりが増え、伝統的建造物群保存地区に関わる規制等のルールや補助制度等への理解が不十分となってきたため、伝建ガイドラインをより分かりやすく改訂し、重要伝統的建造物群保存地区を活用したまちづくりの意義の理解促進を図っていく。 ・修理事業に対する補助の率及び上限額は、他地区に比べ高く設定している。 （美術・博物部 文化財課）  ・令和 7 年度に締結した足助の町並みを活用した地域活性化の推進に関する連携協定に基づき、地域、連携事業者と協力して空き家の商業活用等に取り組んでいく。 ・民間による商業活用が活発化するよう、足助生活拠点創業支援補助金を新設するとともに、市が所有する旧田口家住宅を、交流機能及び宿泊機能を備えた民間運営の施設として整備工事に着手する。 （地域活躍部 足助支所）	・重要伝統的建造物群保存事業補助金（6 8 百万円） ・足助伝統的建造物群保存地区管理費（2 百万円）  ・足助まちづくり事業推進費（7 1 百万円） ・足助生活拠点創業支援補助金（4 百万円）
236	足助	足助地区3	足助支所の建替えを含めた公共施設の早期見直し	足助支所は施設の老朽化が進み、災害時における拠点施設としては不安な状況であり、早期に建替え計画の再検討・実行に着手すること。なお、計画にあたっては、単なる支所の建替えではなく、今後の人口減少や超高齢社会を踏まえ、複合地域核としての足助地区、山村地域、豊田市全域といった視点からの支所機能のあり方を見出す必要がある。また、観光まちづくりのための公共施設（百年草、三州足助屋敷、足助町並み活性化施設など）を多く有しており、これらの施設も老朽化が進み、利用者の減少も著しいが、足助にとっての存在意義は重く、必要な改修等により早期再生を行い、利用を促進すること。	・足助支所庁舎の建替えについて、足助地区のみに限らず広域的な視点を持って建替え計画の再検討に着手する。 ・百年草等の観光まちづくりのための公共施設について、施設の位置付けや運営体制を含めた施設の在り方を引き続き検討していく。 （地域活躍部 足助支所）	・足助まちづくり事業推進費（7 1 百万円）
237	足助	足助地区4	山村地域を守る交通システム整備事業	急激な人口減少や後期高齢者の増加、バスの乗務員不足が続く山村地域に適応した持続可能な交通システムの確立を要望する。地域の生活に欠かせない移動手段を、多様な手段で確保することで、高齢者等交通弱者の自立した生活の支援と積極的な社会参加に繋げ、山村地域で暮らすあらゆる人が住み慣れた地域で快適に暮らし続けられる社会を実現すること。	・山村地域における快適な暮らしを実現するためには、「自助・共助・公助」による多様な移動手段の確保が重要である。 ・公助においては、令和 5 年 1 0 月の改編により増便した各地区週 2 便の運行を継続していく。 ・共助については、令和 7 年 1 0 月からタクシー事業者等が地域住民との話し合いにより実現した共助運行を支援するほか、新しい共助による仕組みを引き続き検討していく。 （地域活躍部 足助支所）	・足助地域バス運行費（4 6 百万円）



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
238	足助	足助地区5	山間地域の住宅確保と定住の促進	山間地域内の市営住宅は多くの利用希望があり、ほぼ満室の状況である。しかし、老朽化の上、土砂法の規制により一部募集が停止されることで、総戸数が減少している。地区外への人口流出を防ぐため、新たな市営住宅の整備や地区内住み替えを可能にする宅地供給を実施すること。また、伝建エリアでは除却・空き家が増加するとともに、人口が減少している。伝建エリアへの定住移住も促進するため、中期的な居住体験ができる「おためし住宅」の整備を進めること。	・地区内での住み替えの受け皿となる居住先の確保については、山村地域活性化住宅の整備のほか、空き家・空き地の活用や分譲による宅地供給等、地域の事情やニーズを踏まえ、あらゆる手法を念頭に置いて検討を進めていく。 ・伝建エリアにおいては、「足助の町並みを活かした地域活性化事業」により空き家等の商業活用等を推進し、雇用の創出と合わせて、関係者の居住にもつなげていく取組を進めていく。 ・暮らしを体験するおためし居住は、移住への不安解消につながる有効な取組と考えており、おためし住宅として必要な施設環境や管理・運営方法など、課題やメリット・デメリットの整理を含め、全国事例も参考にしながら検討を進めていく。 （地域活躍部 総合山村室、足助支所）	・山村地域居住先確保推進費（22百万円） ・足助生活拠点創業支援補助金（4百万円）
239	足助	足助地区6	特色ある子育て環境構築の推進	少子化は全市の共通課題であるが、この地区は特に小規模小学校が多く、小学校の統廃合はこども園、放課後児童クラブ、親のつながり、スクールバス運行など地域の子育て環境に大きく影響するものである。そのため小規模校の在り方について統廃合ありきでなく、地域の声も良く聞き、子どもにとってあるべき魅力ある教育環境を早期に実現すること。	・山村地域のこどもたちの教育環境については、一定の学校規模を確保することが、教育の質の維持・向上に資するものと考え。そのため、学校再編や小中一貫教育の導入などを含め、教育環境の充実に向けた今後の方向性について、現在、庁内で議論を進めている。山村地域のこどもたちにとって、より良い教育環境が整備できるよう、保護者や地域住民の意見を丁寧に伺いながら、地域との議論を支所と連携し進めていく。 （教育部 教育政策課、地域活躍部 足助支所）	・足助まちづくり事業推進費（71百万円）
240	下山	下山地区1	市道、下山大官屋敷・石坂線の拡幅／大沼町	県道作手善夫大沼線において、大沼の街中の道路が狭隘であるが、幹線道路であり交通量が多い。道路の拡幅や歩道整備もできない道路事情から交通事故への危険度も高い。そこで、街中を避けて迂回する必要性があり、市道市下山大官屋敷・石坂線の拡幅はすれ違いも、ままならない状況から生活道としても危険であり道幅の拡幅等の対策が必要で有るため車両、歩行者の安全確保の両面から必要であるため、道路の拡幅を要望する。	・市道下山大官屋敷石坂線については、交通安全上の課題解決に向け、地元と協議調整を行い待避所等の整備に向け工事を進めていく。 （建設部 地域建設課）	・市道改良費2（529百万円）
241	下山	下山地区2	三河湖周辺の観光整備/羽布町	三河湖周辺は、下山地区の観光の核となっている。WRCのSS会場にもなっており、世界に向けた放映も予定されているなど、注目を集める事が期待される。今後、アクティビティを中心とした観光に力を入れていく計画であり、携帯電話の繋がらない場所もある事などからWi-Fi環境などネット環境整備や拠点となる園地の水道設備など、三河湖を中心とした観光地としての整備を要望する。	・現在、下山地区の観光まちづくりを推進する第2期しもやま観光戦略プランを策定しており、計画内容に合わせ、三河湖周辺を含む観光地の環境整備に取り組んでいく。 （地域活躍部 下山支所）	・地域課題解決事業費／地域観光交流費（8百万円）
242	下山	下山地区3	地域バスの地域間の移動	現在、下山地区には総合病院に行く交通手段に乏しく、高齢者に足助病院や厚生病院、記念病院に乗り継ぎ無しに行くのが困難な状況であるため、地域バスでの足助病院にいける様に要望する。	・下山地区公共交通協議会で足助病院への直行バスや、足助地域バスとの連携について意見が出されている。現在の利用者や他の交通事業への影響を踏まえ、同協議会で協議・検討を進めていく。 （地域活躍部 下山支所、都市整備部 交通政策課）	

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
243	下山	下山地区4	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴う宅地整備	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴い3500人の従業員が働く事になる。地域の人口減少に歯止めをかけるために、従業員を下山地区に呼び込む住宅整備の実現に向けて宅地を確保出来る様にし、関係団体や事業者に働きかける事を要望する。	・「2戸2戸作戦宅地分譲事業」などの定住事業を推進するほか、地域の定住促進組織と連携し、宅地利用可能な空き地の発掘を進める。 ・また、地区外から研究施設に通勤する勤務者などのニーズに応じて、空き家・空き地情報バンクの活用、空き地や農地を活用した宅地利用などを進めていくほか、宅建協会などの民間団体等にも働きかけていく。 （地域活躍部 総合山村室、下山支所）	・定住促進費（2百万円） ・地域課題解決事業費／地域定住対策費（5百万円）
244	下山	下山地区5	通学困難者の定義の緩和と対応	現在の通学困難者の定義では、山村地域の実情にあっておらず、距離は、定義に達していない物の高低差が多い事や、歩道もなく危険な状況、なおかつ集団下校もできず、保護者が送迎しなければならない現状もあり、地域の実情に合わせて現場を把握している校長や支所などに権限を持たせてスクールバスなど実情に合った運用ができやすい様にして行く事を要望する。	・通学困難者の通学距離の定義は、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令に準じるものとなっているが、全市域を考慮して高低差など一律の基準を設けることは難しい状況にあるため、実情を考慮した上で個別判断をしていく。 ・少子化が更に進む中で通学団が少人数になってしまうなど、安全面の心配があることも含め課題として検討していく。 （教育部 学校教育課）	・中学生通学困難者電動アシスト自転車購入補助金（1百万円）
245	旭	旭地区1	県道豊田明智線小渡交差点改良工事	小渡町は、旭地区の地域核として公共機関・経済機能が集約された地域であり、地域を縦断する県道豊田明智線は、地域住民や通過車両にとっての主要道路として利用されている。中でも小渡交差点は、道路幅が狭くボルトネック形状となっており、歩道幅も狭いため、往来する車両と歩行者との距離が近い。現在、ダムが残土運搬による大型車両の往来が増加している。今後、浅谷トンネルの開通による交通量の増加も懸念されるため、早急な対応が必要である。	・当該要望箇所は、人家が沿道両側に連担しており、交差点北側にあっては宅盤と道路に相当の高低差がある状況となっていることから、道路拡幅事業を行うには地元負担を要するため、交通状況等を踏まえながら、安全対策を含め愛知県に働きかけていく。 （建設部 建設企画課）	
246	旭	旭地区2	笹戸温泉の再活性化	愛知県最古の笹戸温泉は、以前5店舗以上あった宿泊施設は現在では0店舗となり飲食店が1店舗と衰退化が進んでいる。2026年に開催が予定されているアジア競技大会のカヌー競技開催候補地となっていることから、旭地区の玄関口である笹戸地域の再活性化の取り組みがなされることを要望する。また近年は他の温泉地などで、廃業施設等への不法侵入や不審火が発生していることもあり地域の安全づくりは喫緊の課題であると考え	・笹戸温泉の再活性化については、利用可能な空き店舗等の現況把握を行うとともに、新たな事業者とのマッチングの可能性を探っていく。また、廃業施設等の安全対策については、所有者に適切な管理を指導していく。 （地域活躍部 旭支所）	
247	旭	旭地区3	観光における旭高原元気村の拠点化の推進	今年も世界ラリー選手権が開催される。地域経済を活性化させるため、観光業等の振興を図る必要がある。旭高原元気村は、観光拠点施設として認知されているが、施設が老朽化して利用者も減少傾向にある。キャンプ施設の一部改修など利用者増加の取組も行われているが、元気村施設全体の老朽化は進行しており、施設の再整備も含め、観光資源の活用による更なる活性化を図ることを要望する。	・旭高原元気村の活性化については、雪そりゲレンデやキャンプデッキなどの主要事業に必要な施設整備を進めながら、情報発信の強化などにより利用者の増加に取り組んでいく。 （地域活躍部 旭支所）	・旭高原自然活用村施設整備費（13百万円）
248	旭	旭地区4	旭地区の商工会の再活性化	少子高齢化、後継者不足などが要因で小渡地区の商工会会員は、20年前は63名から現在は42名となっている。地区全体では162名から117名と会員の少ない状況で、現在、地域行事や町の活性化活動を継続しているが、このままでは活動の継続が厳しい状況となっています。地域活性化を維持するためにも、空き店舗の利用者の誘致など地域の再活性化としての支援が必要である	・空き店舗の活用については、空き店舗情報の取りまとめと利用者とのマッチングを商工会と連携して取り組んでいく。 （地域活躍部 旭支所）	



令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
249	旭	旭地区5	定住対策の促進	旭地区の過疎化対策として、市営住宅を山村活性化住宅として活用しやすくしたことは、一定の効果があつたと認識している。地域で空き家バンクの発掘が困難な状況にある中で、定住対策を進めて行くためにも、土砂災害特別警戒区域の指定に基づき使用制限されている杉本住宅4戸の活用に向けた調査の実施、若しくは、それに代わる施設の整備を要望する。併せて、笹戸住宅の外壁塗装を含めた早期修繕を要望する。あわせて、新たな山村活性化住宅の建設を要望する。	・杉本住宅については令和6年度に現地調査等を行い検討した結果、新たな入居者を受け入れることはできないと判断した。 ・移住者の受け皿となる居住先の確保に向け、山村地域活性化住宅の整備のほか、空き家・空き地の活用や分譲による宅地供給等、地域の事情や移住者のニーズを踏まえ、あらゆる手法を念頭に置いて検討を進めていく。 ・笹戸住宅は令和7年度に外壁塗装等を実施している。 （地域活躍部 総合山村室、都市整備部 建築保全・住宅課）	・山村地域居住先確保推進費（22百万円）
250	稲武	稲武地区1	「どんぐりの里いなぶ」から「大井平公園」までの遊歩道整備	地域課題解決事業により武節城址の整備は進んでいる。しかし、城山城址から名倉川への連絡道路が不十分で、さらに大井平公園までの名倉川左岸の遊歩道が老朽化しているとともに右岸は川沿いに遊歩道が整備されておらず竹藪等に覆われ景観を損ねている。 まずは、左岸の再整備と右岸の整備を行うことにより道の駅から武節城址、大井平公園から旧稲武商工会館までの魅力的な川沿いの周遊路による一体感が創設される。このため、武節城址から名倉川左岸への連絡路、左岸の再整備、右岸の整備を含めたさらなる景観整備を要望する。	・既存の地域課題解決事業を拡充し、道の駅から周辺観光資源への周遊性、回遊性を高める仕組みづくりと、観光ルートの景観整備を段階的に進め、更なる観光誘客数の増加につなげていく。 （地域活躍部 稲武支所）	・地域課題解決事業費／地域観光交流費（10百万円）
251	稲武	稲武地区2	黒田川の浚渫	黒田川、宮前橋から真弓ダム間において長年土砂が堆積し、真弓ダムにおいては堤防上部まで届くほどとなっている。真弓ダム近辺は、黒田川と名倉川の合流地点にあたり近年の豪雨時には濁流となって越水しそうな状況ともなっている。東海豪雨時には越水し右岸側の事業所に大きな被害を与えたこともあった。 そのような状況の解消のために宮前橋から真弓ダム間の浚渫を要望する。	・当該地は、愛知県管理河川として草刈による管理が毎年行われている。浚渫については、浸水被害予防のためにも、事業進捗が図られるよう愛知県に働き掛けていく。 （建設部 地域建設課）	
252	稲武	稲武地区3	安心して子供を預けられる環境づくり	以前の稲武地域は、三世代同居などこどもの見守り環境も家庭内で事足りていたが現在では移住した核家族も増え、小学生の放課後の預かりの需要が高まっている。特に学校での長期休暇中の見守りの需要は大きいため、地域の実情に合わせた見守りの実現を要望する。	・放課後児童クラブ未開設校の児童は、長期休暇中に、他地域の学校の放課後児童クラブに参加できるよう対応している。 ・放課後児童クラブ以外の見守りについては、稲武支所と情報共有しながら支援の可能性を検討していく。 （こども・若者部 こども・若者政策課）  ・令和6年度に稲武地域会議から提出された放課後児童クラブの開設に関する提言書を受け、地域会議を中心に関係部署等と連携しながら、地域の実情に合った見守り支援の検討を進めている。 （地域活躍部 稲武支所）	

令和8年度当初予算 議会各会派 要望一覧（自民クラブ 地域要望）

通番	種別	地区No.	要望事項	具体的内容	要望に対する対応	主な計画事業 （令和8年度当初予算） その他参考事項
253	稲武	稲武地区4	稲武地区における学習環境の確保	少子化が進む中、適正な学校規模の調査・研究が進められているが、稲武地区ではすでに、小学校1校、中学校1校という学習環境である。当然、これ以上の他地区との統合は通学距離・時間など負担増になるため、考えにくい。児童生徒にとってより良い学習環境を確保していくため、小中一貫校や現在取り組んでいる中学校の部活動の地域移行における課題とも併せて、調査・研究をすすめる、児童生徒並びに地域住民の声を踏まえた取組を要望する。	・山村地域のこどもたちの教育環境については、一定の学校規模を確保することが、教育の質の維持・向上に資するものとする。そのため、学校再編や小中一貫教育の導入などを含め、教育環境の充実に向けた今後の方向性について、現在、庁内で議論を進めている。山村地域のこどもたちにとって、より良い教育環境が整備できるよう、保護者や地域住民の意見を丁寧に伺いながら、地域との議論を支所と連携し進めていく。 ・中学校の部活動については、地域の声を踏まえつつ地域展開を進めていく。 （教育部 教育政策課、地域活躍部 稲武支所、魅力創造部 学び体験推進課）	・教育政策課事務費（16百万円）